



2016年7月号 投信マーケット MAB アナリスト・アイ

2016年7月13日作成



目次

I. 投信マーケットの動き

6月の市場動向	P 4
投資信託全体	P 5 ~ P 1 0
国内株式	P 1 1
国内債券	P 1 2
先進国株式	P 1 3
エマージング株式	P 1 4
先進国債券	P 1 5
エマージング債券	P 1 6
ハイイールド債券	P 1 7
REIT	P 1 8
複合資産	P 1 9
資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移	P 2 0 ~ P 2 4

II. 今月のトピック

『日本の財政概観』	P 2 6 ~ P 3 3
-----------	---------------

I . 投信マーケットの動き

金融市場動向

- ◆ イギリスのEU離脱の是非を問う国民投票を巡って、株価は荒い値動きとなった。5月末対比では日欧の株価は大幅に下落し、米国はほぼ横ばい。先進国の長期金利は一段と低下し、為替市場では円高が進行した。
- ◆ 月前半は、米国では雇用統計が事前予想を大きく下回る内容であったことから、FRB(連邦準備制度理事会)による早期利上げ懸念の後退をうけて株価はもみ合いとなり、日本では日銀が政策決定会合において政策を現状維持としたことから株価は下落基調で推移した。24日に実施されたイギリスの国民投票の結果EUからの離脱が決まると、世界的に株価は大きく値を下げた。その後、米国は大幅に反発し投票前の水準を回復したものの、日本と欧州は限定的な回復にとどまった。
- ◆ 各国の長期金利や為替市場も同様に、イギリスのEU離脱の影響を受けた。先行き不透明感が広がったことにより、投資家の質への逃避の動きが強まり、先進国の長期金利は低下(価格は上昇)、為替市場では円高が進行した。

投信マーケット動向

- ◆ 公販ファンドの資金流出入(MAB推計)は、約2千億円の流入超となり、7カ月連続の流入超。
- ◆ 資産別流入額では、REITがトップ(約25百億円)、2位はその他資産(約6百億円)、3位は国内株式(約1百億円)。
- ◆ 個別ファンドでは、トップと2位は3カ月連続で、「フィディリティ・USリート・ファンドB」(885億円)、「新光US-REITオープン」(629億円)の顔ぶれ。3位には新規設定の「マクロ・トータル・リターン・ファンド」(481億円)が入った。
- ◆ 流出額では、1位先進国債券(約6百億円)、2位ハイイールド債券(約5百億円)、3位新興国債券(約3百億円)。
- ◆ 資産別のリターンは、国内債券を除くすべての資産でマイナス。イギリスのEU離脱を決める国民投票の結果を受け、リスクオフの流れが強まったことや為替市場で円高が進行したことなどにより、全般的にリターンを押し下げた。
- ◆ 6月の新規設定は45本、約12百億円。「マクロ・トータル・リターン・ファンド」が481億円を集めた。「先進国債券型」では、前月に続き、外国債券やハイブリッド証券に為替ヘッジを付けた単位型・限定追加型のタイプが目立つ。

💡 イギリスの国民投票の行方に左右される。

- 6月のリターンは、国内債券を除くすべての資産でマイナスとなった。イギリスのEU離脱を決める国民投票の結果を受け、リスクオフの流れが強まったこと、為替市場で円高が進行したことなどにより、一般的にリターンを押し下げた。
- 特に、前月比からの下落が顕著だったのが国内株式。世界経済の先行き不透明感の強まりと急速な円高の進行により、輸出関連株を中心に大きく下落したことが影響した。

<各資産のリターン順位の推移> 2015年7月～2016年6月の月次、直近3ヵ月・直近6ヵ月・1年間

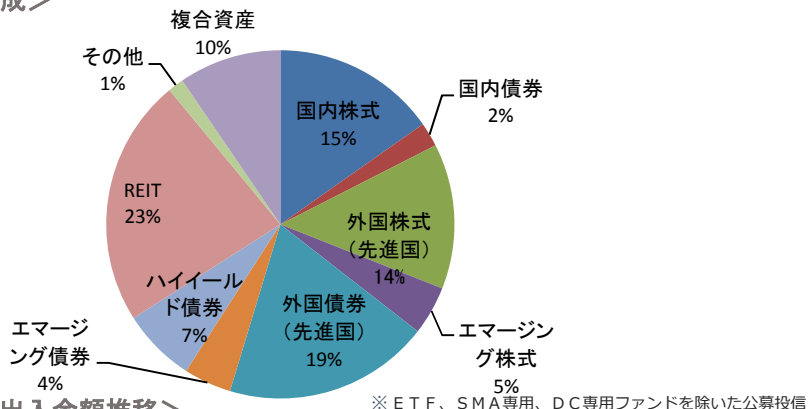
リターン 上位	2015年7月	2015年8月	2015年9月	2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年
	国内株式 1.2%	国内債券 0.0%	国内債券 0.1%	先進国株式 10.3%	国内株式 3.1%	国内債券 0.3%	国内債券 0.6%	国内債券 0.7%	エマーゼン 株式 10.6%	ハイイールド 債券 1.4%	国内株式 2.3%	国内債券 0.8%	国内債券 1.5%	国内債券 3.3%	国内債券 4.1%
	REIT 1.0%	先進国債券 -3.3%	REIT -1.9%	国内株式 9.5%	エマーゼン 債券 1.3%	REIT -0.9%	先進国債券 -1.5%	REIT -0.2%	エマーゼン 債券 6.9%	先進国株式 0.6%	国内債券 0.2%	エマーゼン 債券 -1.4%	エマーゼン 債券 -3.4%	エマーゼン 債券 -2.5%	REIT -5.2%
	先進国株式 0.4%	ハイイールド 債券 -5.6%	先進国債券 -2.2%	エマーゼン 株式 8.9%	先進国株式 0.8%	先進国債券 -1.8%	エマーゼン 債券 -2.9%	エマーゼン 債券 -2.8%	国内株式 6.7%	エマーゼン 株式 0.5%	先進国株式 -0.3%	REIT -3.7%	ハイイールド 債券 -4.4%	REIT -3.8%	エマーゼン 債券 -12.5%
	国内債券 0.1%	エマーゼン 債券 -6.4%	ハイイールド 債券 -6.0%	REIT 7.3%	先進国債券 0.7%	国内株式 -2.2%	REIT -4.2%	先進国株式 -3.1%	ハイイールド 債券 6.6%	国内債券 0.5%	先進国債券 -0.8%	ハイイールド 債券 -4.0%	REIT -5.0%	ハイイールド 債券 -6.0%	先進国債券 -13.7%
	先進国債券 -0.2%	REIT -7.0%	エマーゼン 株式 -6.1%	エマーゼン 債券 6.3%	REIT 0.6%	先進国株式 -3.1%	ハイイールド 債券 -4.5%	ハイイールド 債券 -3.4%	先進国株式 6.6%	エマーゼン 債券 0.3%	REIT -0.9%	エマーゼン 株式 -4.1%	エマーゼン 株式 -5.8%	先進国債券 -9.5%	ハイイールド 債券 -16.2%
	ハイイールド 債券 -1.2%	国内株式 -7.4%	エマーゼン 債券 -6.2%	ハイイールド 債券 5.6%	ハイイールド 債券 0.6%	エマーゼン 株式 -3.2%	国内株式 -7.7%	エマーゼン 株式 -3.6%	REIT 5.9%	REIT -0.4%	ハイイールド 債券 -1.8%	先進国債券 -4.8%	先進国債券 -7.0%	エマーゼン 株式 -9.9%	国内株式 -20.3%
	エマーゼン 債券 -1.6%	先進国株式 -8.2%	国内株式 -7.8%	先進国債券 2.1%	国内債券 0.0%	エマーゼン 債券 -3.7%	先進国株式 -9.3%	先進国債券 -4.5%	先進国債券 3.5%	国内株式 -0.6%	エマーゼン 株式 -2.3%	先進国株式 -7.6%	国内株式 -7.0%	先進国株式 -13.2%	先進国株式 -20.7%
リターン 下位	エマーゼン 株式 -4.0%	エマーゼン 株式 -10.9%	先進国株式 -8.0%	国内債券 0.2%	エマーゼン 株式 -0.3%	ハイイールド 債券 -4.3%	エマーゼン 株式 -10.2%	国内株式 -8.7%	国内債券 0.4%	先進国債券 -1.5%	エマーゼン 債券 -2.4%	国内株式 -8.6%	先進国株式 -7.3%	国内株式 -16.4%	エマーゼン 株式 -23.8%

※ETF、SMA専用、DC専用ファンドを除いた公募投信

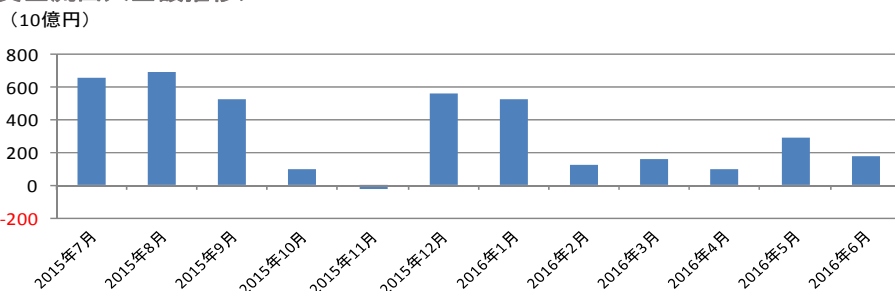
💡 7ヵ月連続の資金流入。

- 6月の公販ファンドの資金流入(MAB推計)は2千億円弱の流入超となった。7ヵ月連続の流入超だが前月と比べ流入金額は減少。
- 資産別では、REIT(約250億円)が圧倒的で、次いでその他資産(約600億円)、国内株式(約100億円)が続いている。
- 他方、流出が最も多かったのが、先月久しぶりに流入に転じた先進国債券。国内債券の代替投資先としてヘッジ付きの先進国債券に限っていえば流入が続いているが、円高の急速な進行を嫌気し、ヘッジなしの先進国債券から資金が大幅に流出した。

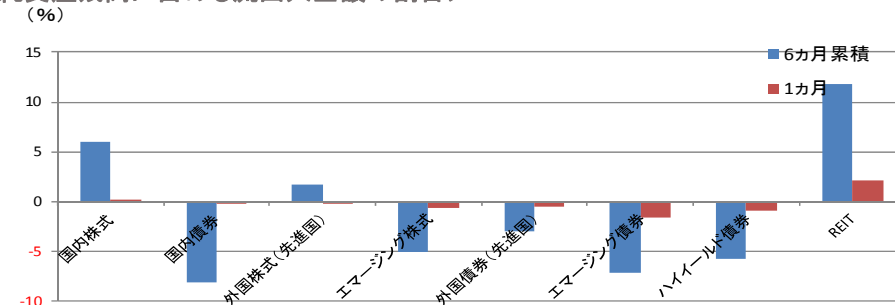
<残高構成>



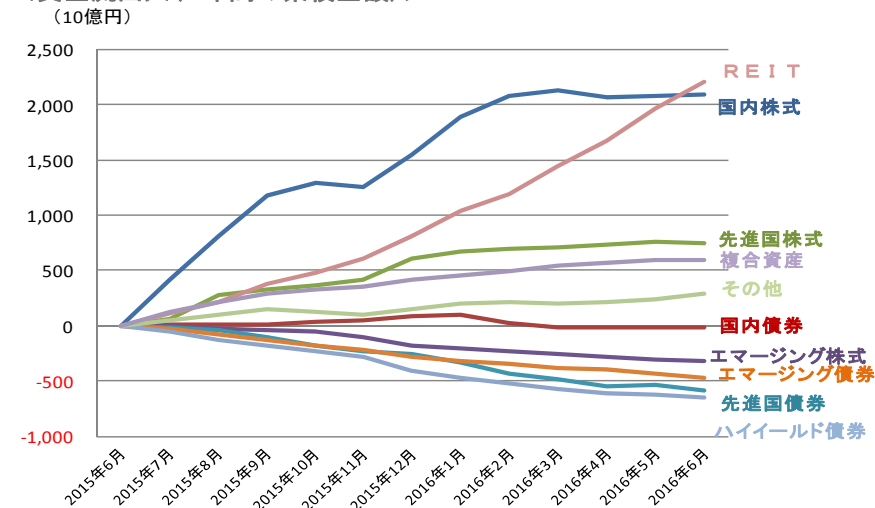
<資金流入金額推移>



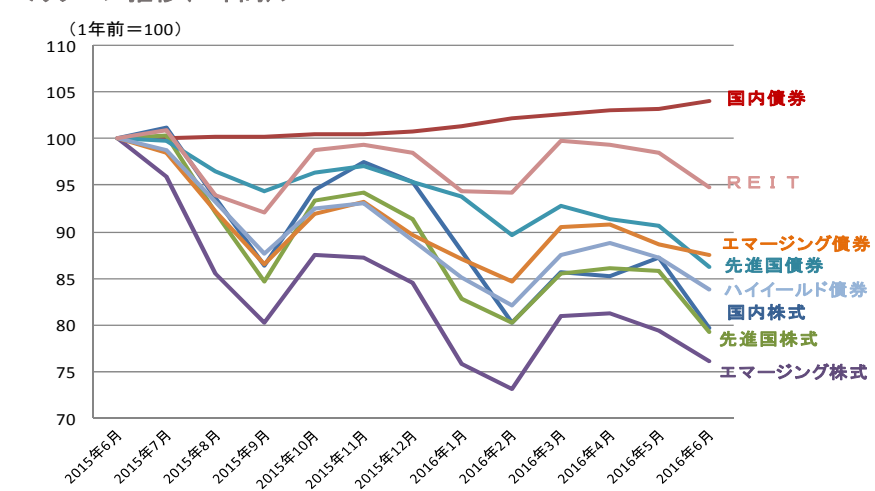
<純資産残高に占める流入金額の割合>



<資金流入(1年間の累積金額)>



<リターン推移(1年間)>



💡 欧州からの資金流出が続く。

- ・ 海外リートに資金が集中する様相が続いている。J-REITも3か月連続の流入超となった。
- ・ 国内株式は全体としては流入超だが、アクティブファンドに限ってみれば、3か月連続で資金流出。
- ・ 地域別にみると、欧州からは、リートも含めほとんどのカテゴリで資金流出が続いている。

＜各資産の資金流入の推移＞ 2015年7月～2016年6月の月次、直近3か月間・直近6か月間・1年間

(単位:10億円)

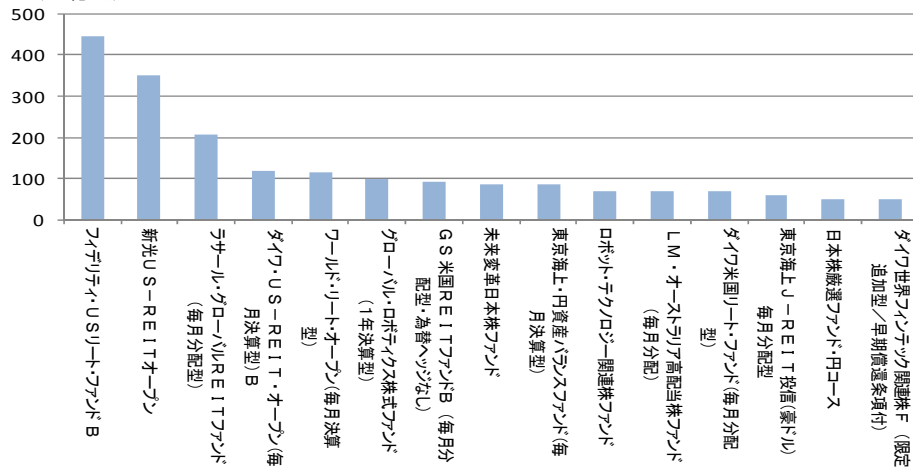
		純資産残高 2016年6月	資金流入												直近3か月	直近6か月	1年
			2015年7月	2015年8月	2015年9月	2015年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月			
国内株式	一般	5,355	317	226	230	128	72	207	185	111	42	-21	-11	-40	-73	266	1,445
	小型	439	-2	-3	3	2	-7	-8	0	-1	-8	-13	-7	6	-14	-22	-36
	インデックスその他	1,961	103	174	132	-18	-100	93	158	74	16	-19	21	46	48	297	680
国内債券	一般	1,097	5	4	9	16	24	28	8	-76	-37	-6	-1	-2	-9	-114	-28
先進国株式	グローバル・複合地域	4,601	-15	150	48	14	57	204	67	24	31	38	29	-14	53	175	633
	米国・北米	1,654	59	55	10	35	-7	-2	-4	1	-11	-16	-14	-31	-61	-74	75
	欧州	239	2	7	-3	-10	-5	-8	-6	-8	-14	-11	-11	-12	-34	-63	-79
	アジア・オセアニア	369	10	3	2	1	2	-1	4	6	9	12	22	49	83	102	119
エマーシング株式	グローバル・複合地域	465	-9	-20	-11	-11	-18	-21	-11	-14	-11	-8	-8	-9	-26	-62	-153
	BRICS	741	-29	-9	8	-3	-9	-14	-6	-6	-7	-8	-8	1	-15	-34	-91
	その他	1,091	33	5	-1	-8	-25	-33	-8	-6	-5	-12	-12	-7	-31	-49	-78
先進国債券	グローバル・複合地域	6,552	-19	1	-44	-32	-19	27	-34	-51	-32	-29	14	-23	-38	-155	-240
	米国・北米	1,079	11	-1	-1	-9	-15	-19	-23	-26	-14	-12	-4	-7	-23	-85	-119
	欧州	79	-1	-2	-1	-1	-2	-2	-1	-2	-1	-3	-1	-2	-5	-10	-19
	アジア・オセアニア	2,023	-8	-23	-22	-25	-23	-24	-18	-22	-14	-11	-6	-17	-33	-86	-211
エマーシング債券	グローバル・複合地域	1,302	-40	-51	-42	-49	-41	-59	-30	-26	-28	-23	-34	-33	-89	-174	-456
	BRICS	709	9	7	-2	5	5	4	-2	-2	-3	-3	-1	-6	-10	-16	12
	その他	248	-0	-5	-5	-4	-7	-9	-2	-2	2	4	2	3	9	7	-24
ハイイールド債券	グローバル・複合地域	657	6	-4	3	3	4	-16	-10	-7	-4	-1	2	-7	-6	-27	-32
	米国・北米	1,906	-24	-37	-29	-27	-27	-71	-37	-23	-22	1	5	7	13	-70	-285
	欧州	728	-45	-33	-29	-25	-21	-34	-13	-24	-21	-17	-13	-20	-51	-108	-294
	アジア・オセアニア	193	10	-1	-2	-2	-0	-4	-3	-5	-3	-11	-7	-12	-31	-42	-41
REIT	日本	3,149	40	31	40	31	28	33	22	-30	-18	5	32	29	67	42	244
	グローバル・複合地域	3,101	-13	-4	26	5	10	26	55	44	67	47	44	29	121	287	337
	米国・北米	4,962	46	51	89	68	75	146	152	144	200	176	201	197	574	1,071	1,545
	欧州	78	-2	-4	-2	-2	18	-1	-1	-2	-2	-2	-3	-5	-10	-15	-8
	アジア・オセアニア	434	49	23	7	2	3	-4	-0	-3	4	3	14	-7	10	11	91
複合資産	バランスファンド	4,836	120	97	70	39	26	59	39	39	43	28	22	10	60	182	592
合計(その他含む)		50,795	655	696	524	99	-30	562	522	122	161	98	294	134	525	1,330	3,836

※ETF、SMA専用、DC専用ファンドを除いた公募投信

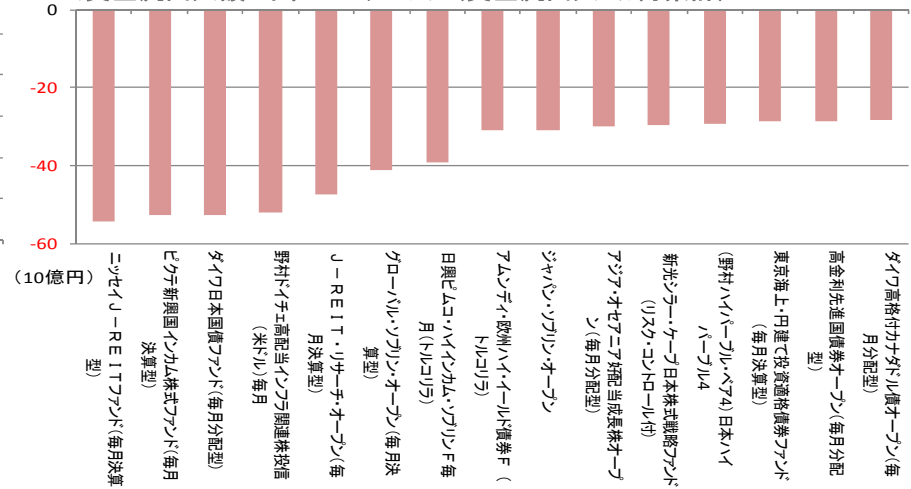
💡 高分配ファンドの人気は根強い。

- 流入額では、相変わらず、海外リートと日本株式、テクノロジー関連ファンドが上位を占めている。そのなかで、今月は、「LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)」が11位に登場。当ファンドは流入率でもトップ。直近1年間の分配金利回りが20%近いことが特徴。また、流入額の最後尾に顔を出した「ダイワ世界フィンテック関連株F(限定追加型/早期償還条項付)」は、2016年4月に設定されたファンド。国内外のフィンテック関連企業に投資し、基準価額が15,000円に達すると償還される仕組み。

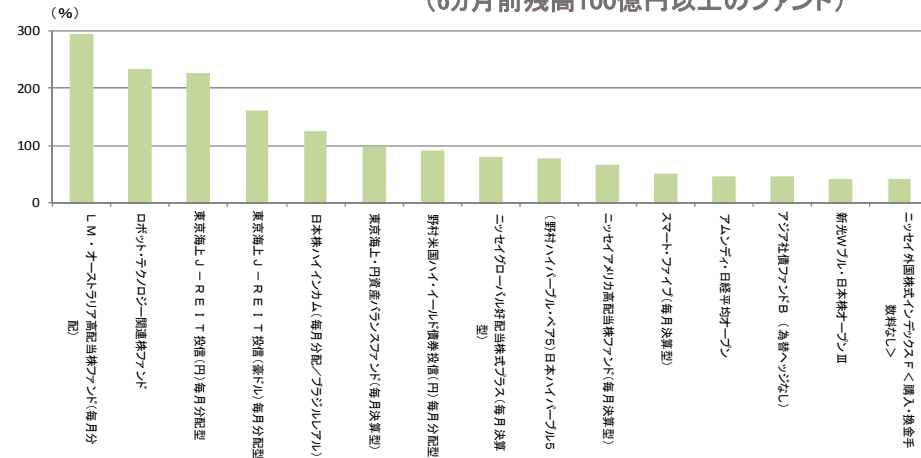
＜資金流出入額 上位15ファンド＞(資金流出入6ヵ月累計)
(10億円)



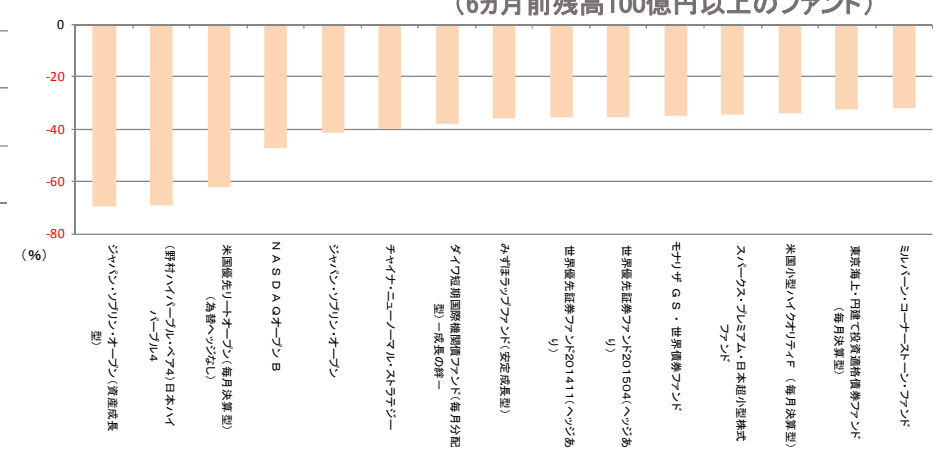
＜資金流出入額 下位15ファンド＞(資金流出入6ヵ月累計)



＜資金流入率 上位15ファンド＞(資金流出入6ヵ月累計/純資産残高)
(6ヵ月前残高100億円以上のファンド)



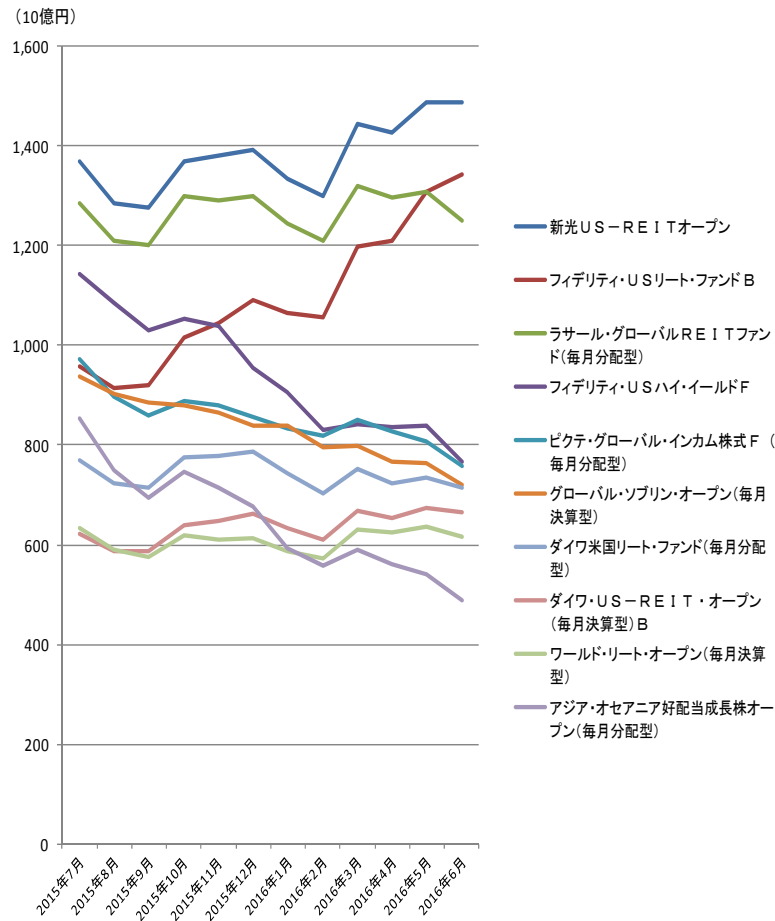
＜資金流出率 上位15ファンド＞(資金流出入6ヵ月累計/純資産残高)
(6ヵ月前残高100億円以上のファンド)



個別ファンドのリターンでは、ブラジルリアル関連ファンドが上位を占める。

- 6月のファンド別リターンは、金価格の上昇を受け、「ブラックロック・ゴールド・ファンド」がトップ。また、ブラジルリアル上昇の恩恵を受けたファンドが上位に並んだ。
- 純資産残高ではリートの上位3ファンドは1兆円規模を保っているが、それ以外のファンドは減速。

<純資産残高 上位10ファンド>



<リターン(6ヵ月)上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	大分類	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
			1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ブラックロック・ゴールド・ファンド	ブラックロック	外国株式(先進国)	14.2	56.9	25.4	172	14	16
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	三菱UFJ国際	外国株式(先進国)	4.7	27.7	-26.0	79	-0	15
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	エマーゼン債	8.6	23.8	-11.5	51	-1	-9
資源株ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)	日興	外国株式(先進国)	7.3	22.3	-21.4	551	15	67
資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル	日興	外国株式(先進国)	7.3	22.2	-21.5	331	-13	-54
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	エマーゼン債	5.2	21.3	-5.0	352	-3	-17
HSBCブラジルオープン	HSBC	エマーゼン株式	7.9	19.8	-23.7	337	-3	-12
インベスコ・店頭・成長株オープン	インベスコ	国内株式	0.7	19.2	18.2	93	1	-13
DIAM新興国ソブリンオープン<ブラジルリアル>	DIAM	エマーゼン債	9.6	18.9	-1.5	281	-7	-34
ブラDESCOブラジル債券ファンド(分配重視型)	三菱UFJ国際	エマーゼン債	5.0	18.5	-7.0	95	0	-7
野村エマーゼン債投信(ブラジルリアル)毎月分配型	T&Dアセット	エマーゼン債	8.1	18.3	-4.5	310	-0	-3
野村新興エマーゼン債投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	エマーゼン債	8.3	17.6	-3.8	174	-2	-11
UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)	UBS	エマーゼン債	4.2	17.6	-6.3	199	13	36
UBSブラジル・リアル債券投信(年2回決算型)	UBS	エマーゼン債	4.2	17.4	-6.7	89	-2	7
DWSブラジル・リアル債券ファンド(毎月分配型)	ドイツ	エマーゼン債	4.5	17.1	-7.7	133	-1	-6

<リターン(1ヵ月)上位15ファンド一覧>

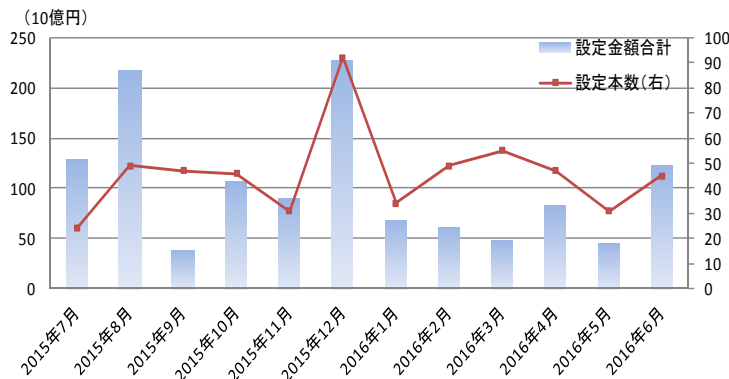
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	大分類	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
			1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ブラックロック・ゴールド・ファンド	ブラックロック	外国株式(先進国)	14.2	56.9	25.4	172	14	16
DIAM新興国ソブリンオープン<ブラジルリアル>	DIAM	エマーゼン債	9.6	18.9	-1.5	281	-7	-34
日興ピコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(ブラジルリアル)	日興	エマーゼン債	8.7	16.3	-7.4	103	-6	-22
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	エマーゼン債	8.6	23.8	-11.5	51	-1	-9
野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	野村	REIT	8.5	14.6	6.3	86	-1	-6
通貨選択型米国リート・αクワトロ(毎月分配)	大和	REIT	8.4	12.7	5.5	84	9	18
野村新興エマーゼン債投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	エマーゼン債	8.3	17.6	-3.8	174	-2	-11
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	エマーゼン債	8.2	16.4	-5.1	869	-8	-43
野村エマーゼン債投信(ブラジルリアル)毎月分配型	T&Dアセット	エマーゼン債	8.1	18.3	-4.5	310	-0	-3
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)	三井住友	エマーゼン債	8.1	16.7	-2.1	574	-28	-104
HSBCブラジルオープン	HSBC	エマーゼン株式	7.9	19.8	-23.7	337	-3	-12
(通貨選択EBF)ブラジルリアルコース(毎月分配型)	大和住銀	エマーゼン債	7.8	15.3	-3.8	663	-8	-61
エマーゼン・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(ブラジルリアル)	日興	ハイイールド債券	7.6	14.4	-7.8	300	-22	-59
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	エマーゼン株式	7.4	16.9	-22.3	88	-1	-6
資源株ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)	日興	外国株式(先進国)	7.3	22.3	-21.4	551	15	67

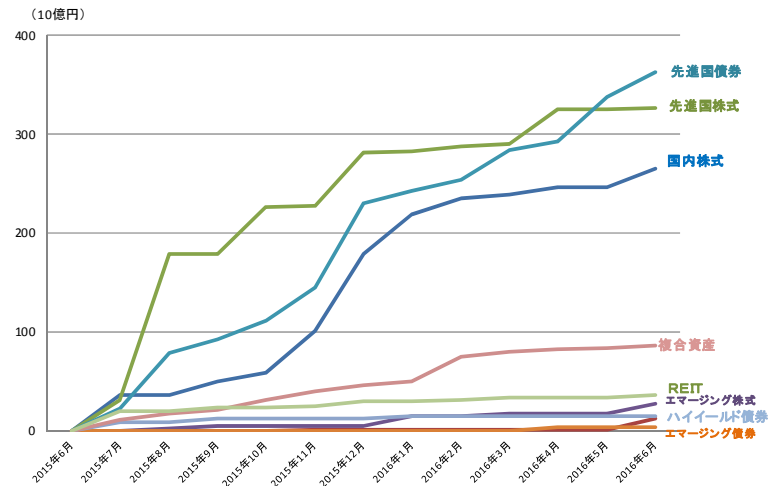
💡 6月の新規設定は1千億円を超える資金を集める。

- 6月の新規設定(速報ベース)は本数45本、金額約1,223億円と半年振りに1千億円を上回った。
- 資産別では、「その他資産」が488億円と最も多く、次いで「先進国債券型」が261億円、「国内株式型」が190億円となった。
- 日本を含む世界各国の株式、債券およびデリバティブ取引等を投資対象とし、マクロ環境に関する複数のテーマを選定した投資戦略を組み合わせ絶対収益を追求する「マクロ・トータル・リターン・ファンド」が481億円を集めた。「先進国債券型」では、前月に続き、外国債券やハイブリッド証券に為替ヘッジを付けた単位型・限定追加型のタイプが目立つ。

＜新規設定金額、設定本数の推移＞



＜新規設定(1年間の累積金額)＞



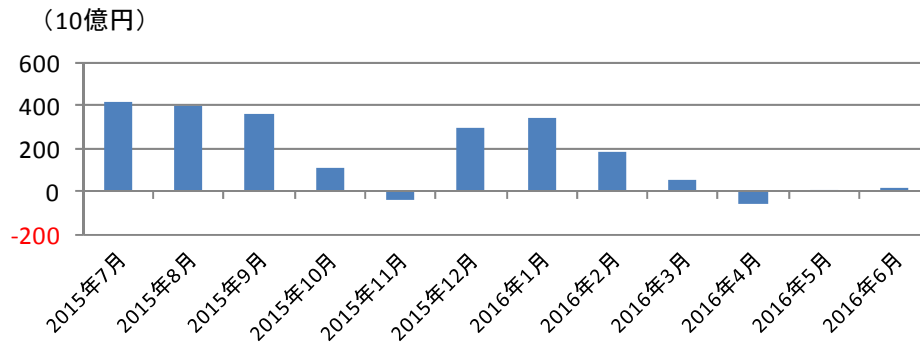
＜直近6か月 新規設定上位30ファンド一覧＞

ファンド名	運用会社	6月末現在純資産額 (億円)	ファンド分類	設定年月	単位型/追加型
未来変革日本株ファンド	DIAM	823	国内株式	2016年1月	追加型
マクロ・トータル・リターン・ファンド	三菱UFJ国際	490	その他	2016年6月	追加型
ダイワ世界フィンテック関連株F(限定追加型/早期償還条項付)	大和	454	外国株式(先進国)	2016年4月	追加型
先進国ハイブリッド証券(為替ヘッジあり)2016-05	三菱UFJ国際	269	外国債券(先進国)	2016年5月	単位型
ダイワ/ミレーアセット垂細亜株式ファンド	大和	262	エマージング株式	2016年1月	追加型
JPMグローバル高利回りCBファンド2016-04	JPモルガン	211	その他	2016年4月	追加型
りそなラップ型ファンド(安定型)	りそなAM	210	複合資産	2016年2月	追加型
シュローダー・G好利回りCB2016-04為替ヘッジあり(限定追加型)	シュローダー	186	その他	2016年4月	追加型
USテクノロジー・イノベーターズ・ファンド	三井住友	156	外国株式(先進国)	2016年2月	追加型
グローバル新世代関連株式ファンド	新光	120	外国株式(先進国)	2016年4月	追加型
りそなラップ型ファンド(安定成長型)	りそなAM	119	複合資産	2016年2月	追加型
アムンディ・ダブルウォッチ	アムンディ	115	複合資産	2016年1月	追加型
SBI-PIMCOジャパン・ベターインカム・ファンド	SBIボンド	109	国内債券	2016年6月	追加型
日本厳選割安株ファンド2016-01(繰上償還条件付)	三井住友トラスト	106	国内株式	2016年1月	追加型
パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券F2016-06ヘッジあり	パインブリッジ	99	外国債券(先進国)	2016年6月	単位型
シュローダー・アジアパシフィック・エクセレント・カンパニーズ	シュローダー	95	エマージング株式	2016年6月	追加型
三井住友・公益インフラ優先証券ファンド201603	三井住友	94	外国債券(先進国)	2016年3月	追加型
ダイワ高格付日本企業外債F(為替ヘッジあり)2016-06	大和	93	外国債券(先進国)	2016年6月	単位型
みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券2016-05(為替ヘッジあり)	大和	89	外国債券(先進国)	2016年5月	追加型
ジャパン・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	日興	89	国内株式	2016年1月	追加型
いちよし中小型成長株ファンド	いちよし	87	国内株式	2016年6月	追加型
日本連続増配成長株ファンド16-02(繰上償還条項付)	岡三	87	国内株式	2016年2月	追加型
ロボ・ジャパン(円投資型)	野村	81	国内株式	2016年4月	追加型
THE日本株オープン(円投資型)	三菱UFJ国際	79	国内株式	2016年2月	追加型
JP4資産バランスファンド(安定コース)	JP投信	78	複合資産	2016年2月	追加型
US株主還元ファンド(年1回決算型)	マニユライフ	75	外国株式(先進国)	2016年4月	追加型
BNYメロン・G好利回りCB2016-04(円ヘッジ)(限定追加型)	BNYメロン	68	その他	2016年4月	追加型
世界プレミアム企業債券ファンド(為替ヘッジあり)	三菱UFJ国際	67	外国債券(先進国)	2016年1月	追加型
先進国好配当株式ファンド(3ヵ月決算型)	三菱UFJ国際	64	外国株式(先進国)	2016年2月	追加型
インベスコジャパン成長株・夢ファンド	インベスコ	60	国内株式	2016年6月	追加型

💡 株価が大きく下落する中、僅かな資金流入超となる。

- 日経平均は一時14,000円台まで下落する中、僅かに資金流入超となった。
- 6か月リターンは、中小型株を主要投資対象とするファンドが引き続き上位を占め、5月に10%を超えるリターンとなった「インベスコ・店頭・成長株オープン」が辛うじてプラスに留まった。

<資金流入金額推移>



※資金流入は残高の制約をしていますが、従って、リターンの表には掲載されないファンドもあります。

<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
いちよし中小型成長株ファンド	いちよし	87	87	87	87	-	-
日経225ノードロードオープン	DIAM	76	325	863	1,709	-9.6	-17.7
日興・インデックスファンド225	日興	71	378	607	2,278	-9.5	-17.6
インベスコジャパン 成長株・夢ファンド	インベスコ	60	60	60	60	-	-
未来変革日本株ファンド	DIAM	59	858	858	823	-8.0	-
ひふみプラス	レオス	46	196	464	834	-5.9	-6.4
野村継続増配日本株	野村	37	37	37	36	-	-
ダイワ日本株式インデックスF<シフト11>Ver7	大和	31	38	38	38	-9.5	-
MHAM株式インデックスF225	みずほ	30	253	526	1,584	-9.5	-17.6
リそな・日経225オープン	アムンティ	29	193	459	657	-9.6	-17.7
三菱UFJ国際インデックスファンド225	三菱UFJ国際	22	136	268	732	-9.6	-17.6
ニッセイ日経225インデックスファンド	ニッセイ	22	132	316	1,009	-9.5	-17.4
ストックインデックスF225	大和	22	177	340	913	-9.5	-17.5
三菱UFJインデックス225オープン	三菱UFJ国際	19	77	141	695	-9.6	-17.6
(野村インデックスF)日経225	野村	17	81	212	281	-9.5	-17.6

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
インベスコ・店頭・成長株オープン	インベスコ	0.7	19.2	18.2	93	1	-13
新成長株ファンド	明治安田	-2.7	8.6	19.2	102	2	-1
中小型成長株ファンドーネクストジャパン	SBI	-2.4	8.6	19.0	57	1	-3
日興グローイング・ベンチャーファンド	日興	-3.3	4.2	-4.5	64	-4	-23
SBI小型成長株ファンド(ジェイクル)	SBI	-3.8	4.0	-6.4	48	-1	-5
DIAM新興市場日本株ファンド	DIAM	-6.3	3.9	14.7	125	-8	73
ダイワ新興企業株ファンド	大和	-2.8	3.7	12.1	61	-2	-9
小型株ファンド	明治安田	-3.2	3.4	-5.8	114	-5	-26
日本新興株オープン	日興	-5.8	3.0	0.8	94	-3	-16
JPMザ・ジャパン	JPMorgan	-4.3	1.3	-5.6	784	-11	-70
スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド	スパークス	-2.6	0.8	-	70	-14	-36
JPMEーフロンティア・オープン	JPMorgan	-4.3	0.5	-5.7	83	-3	-21
JPMジャパン・ディスカバリー・ファンド	JPMorgan	-4.4	0.5	-6.5	96	-2	-19
成長株ジャパン・オープン	三菱UFJ国際	-4.4	0.4	-6.7	162	-7	-26
ダイワ日本株式インデックスF<シフト11>Ver2	大和	0.0	-0.0	-0.0	57	-0	-6

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

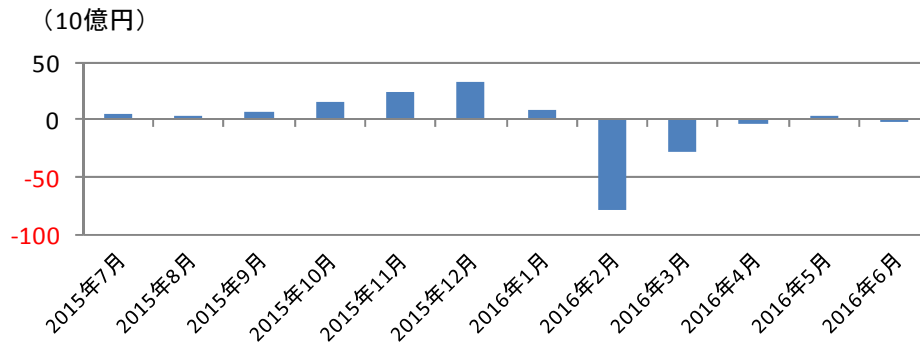
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
インベスコ・店頭・成長株オープン	インベスコ	0.7	19.2	18.2	93	1	-13
日本株ハイインカム(毎月分配/ブラジルレアル)	アストマックス	0.1	-5.7	-23.5	243	8	187
ダイワ日本株式インデックスF<シフト11>(限定追加型)	大和	0.0	-0.0	-0.0	64	0	-4
ダイワ日本株式インデックスF<シフト11>Ver2	大和	0.0	-0.0	-0.0	57	-0	-6
ダイワ日本株ストラテジーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	-1.4	-8.0	-30.2	117	-3	-11
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	大和住銀	-1.9	-11.9	-27.5	2,005	-34	73
DRC日本株アクティブファンド	DIAM	-2.0	-4.9	-	118	-21	-24
中小型成長株ファンドーネクストジャパン	SBI	-2.4	8.6	19.0	57	1	-3
スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド	スパークス	-2.6	0.8	-	70	-14	-36
新成長株ファンド	明治安田	-2.7	8.6	19.2	102	2	-1
ダイワ新興企業株ファンド	大和	-2.8	3.7	12.1	61	-2	-9
ニッポン成長株オープン	岡三	-2.9	-0.4	-3.6	82	-4	-7
結い2101	鎌倉	-2.9	-8.4	-7.7	231	3	33
小型株ファンド	明治安田	-3.2	3.4	-5.8	114	-5	-26
日興グローイング・ベンチャーファンド	日興	-3.3	4.2	-4.5	64	-4	-23

再び資金流出超に転じる。

- 前月資金流入超となるも、今月は僅かながら資金流出超に転じた。
- 6ヵ月リターンは好調が続いており、上位ファンドのほとんどが、6%を超えるリターンとなった。
- 1ヵ月リターンは、長期金利が過去最低水準を更新する中で、上位ファンドのリターンは1%を超えている。

<資金流入金額推移>



※資金流入は残高の制約をしていますが、従って、リターンの表には掲載されないファンドもあります。

<資金流入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
SBI-PIMCOジャパン・ベターインカム・ファンド	SBIポンド	109	109	109	109	-	-
三菱UFJ日本国債ファンド(毎月決算型)	三菱UFJ国際	22	67	106	166	1.3	6.7
三井住友・日本債券インデックスF	三井住友	15	55	86	522	1.2	6.3
ニッセイ国内債券アルファ	ニッセイ	9	205	271	271	0.1	0.7
明治安田・日本債券ファンド	明治安田	5	11	15	38	1.5	7.6
ダイワ住宅金融支援機構債券ファンド-Mr.フラット	大和	5	22	22	23	0.9	-
インデックスコレクション(国内債券)	三井住友トラスト	5	72	90	173	1.2	6.3
東京海上セレクション・日本債券	東京海上	4	12	18	146	1.3	6.1
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	みずほ	4	7	10	104	-0.2	0.5
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	3	18	30	99	1.5	7.7
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	東京海上	3	4	7	63	1.0	5.4
ニッセイ国内債券インデックスF<購入・換金手数料なし>	ニッセイ	3	19	31	44	1.3	6.4
しんきん公共債ファンド	しんきん	3	-12	7	90	0.2	1.8
国内債券通貨プラス(秀債くん)	三菱UFJ国際	3	10	8	20	2.1	6.3
ダイワ日本国債15-20年ラダー型	大和	2	37	37	39	2.5	-

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	1.5	7.7	9.6	99	3	18
三菱UFJ日本国債ファンド(毎月決算型)	三菱UFJ国際	1.3	6.7	8.8	166	22	67
三井住友・日本債券インデックスF	三井住友	1.2	6.3	8.1	522	15	55
日立国内債券インデックスファンド	日立	1.2	6.3	8.1	148	2	3
インデックスコレクション(国内債券)	三井住友トラスト	1.2	6.3	8.1	173	5	72
DLIBJ・公社債オープン(中期コース)	DIAM	1.2	6.3	8.3	548	-0	7
ダイワ投信倶楽部日本債券インデックス	大和	1.2	6.2	7.8	92	1	5
SMT国内債券インデックス・オープン	三井住友トラスト	1.2	6.2	7.8	113	1	4
東京海上セレクション・日本債券	東京海上	1.3	6.1	7.7	146	4	12
eMAXIS国内債券インデックス	三菱UFJ国際	1.2	6.1	7.7	234	-5	9
DIAM国内債券パッシブ・ファンド	DIAM	1.2	6.1	7.6	129	-5	-5
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	東京海上	1.0	5.4	6.9	63	3	4
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	東京海上	1.0	5.3	6.9	628	-17	-288
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	0.8	3.5	4.9	110	-1	2
ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	大和	0.8	3.5	4.9	4,051	-71	-526

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

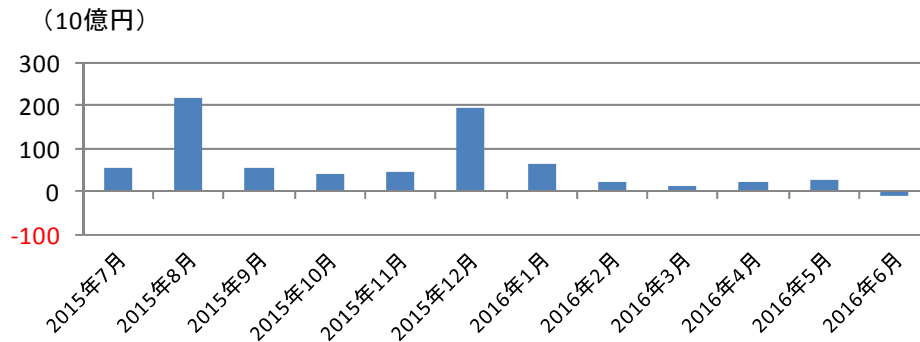
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
大和・日本物産連動国債ファンド	大和	1.6	-0.5	-1.6	180	-11	-37
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	1.5	7.7	9.6	99	3	18
MHAM物産連動国債ファンド	みずほ	1.5	-0.6	-1.6	482	-24	-95
東京海上セレクション・日本債券	東京海上	1.3	6.1	7.7	146	4	12
三菱UFJ日本国債ファンド(毎月決算型)	三菱UFJ国際	1.3	6.7	8.8	166	22	67
三井住友・日本債券インデックスF	三井住友	1.2	6.3	8.1	522	15	55
ダイワ投信倶楽部日本債券インデックス	大和	1.2	6.2	7.8	92	1	5
インデックスコレクション(国内債券)	三井住友トラスト	1.2	6.3	8.1	173	5	72
日立国内債券インデックスファンド	日立	1.2	6.3	8.1	148	2	3
SMT国内債券インデックス・オープン	三井住友トラスト	1.2	6.2	7.8	113	1	4
DLIBJ・公社債オープン(中期コース)	DIAM	1.2	6.3	8.3	548	-0	7
eMAXIS国内債券インデックス	三菱UFJ国際	1.2	6.1	7.7	234	-5	9
DIAM国内債券パッシブ・ファンド	DIAM	1.2	6.1	7.6	129	-5	-5
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	東京海上	1.0	5.4	6.9	63	3	4
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	東京海上	1.0	5.3	6.9	628	-17	-288

💡 過去1年で初の資金流出超。

- 資金流入が続いていたが、市場が不安定となる中、過去1年で初の流出超となった。
- 6ヵ月リターンは、原油価格の回復に伴いMLP関連ファンドの順位が上昇している。
- 1ヵ月リターンは、市場において安全資産への需要が高まったことから、「ブラックロック・ゴールド・ファンド」が10%を超えるリターンとなった。

<資金流入金額推移>



※資金流入は残高の制約をしていません。従って、リターンの表には掲載されないファンドもあります。

<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)	L M	371	703	761	850	-7.3	-10.3
グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	日興	106	1,003	3,731	3,381	-9.1	-12.7
ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	71	259	453	1,570	-7.0	-10.0
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	大和	66	707	1,007	936	-9.1	-14.1
ニッセイグローバル好配当株株式プラス(毎月決算型)	ニッセイ	61	252	564	438	-8.4	-16.3
ブラックロック・ゴールドメタル A	ブラックロック	50	109	111	158	21.4	74.8
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	35	110	63	243	-4.6	-9.5
グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	日興	25	348	1,505	1,360	-9.1	-12.7
ジャナス米園中小型成長株ファンド(年4回決算型)	DIAM	23	64	164	144	-9.2	-15.0
グローバル・オイル株式ファンド	日興	21	21	21	20	-	-
グローバル新世代関連株ファンド	新光	19	128	128	120	-9.7	-
オーストラリア高配当株プレミアム(毎月分配型)	大和住銀	18	49	-17	229	-6.8	-12.6
USテクノロジー・イノベーションズ・ファンド	三井住友	16	153	153	156	-9.1	-
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	15	67	246	551	7.3	22.3
LM・オーストラリア高配当株ファンド(年2回決算)	L M	15	20	21	28	-7.3	-10.4

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ブラックロック・ゴールド・ファンド	ブラックロック	14.2	56.9	25.4	172	14	16
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	三菱UFJ国際	4.7	27.7	-26.0	79	-0	15
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	7.3	22.3	-21.4	551	15	67
資源株ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	7.3	22.2	-21.5	331	-13	-54
野村ドイチェ高配当インフラ関連株投資(BRレアル)毎月	野村	5.6	15.3	-11.0	455	-9	-48
ダイワ・インフラビジネス・ファンド(為替ヘッジあり)	大和	2.8	10.3	-4.2	58	-2	-10
世界インフラ関連好配当株株式 通貨選択型F(ブラジルレアル)	三井住友トラスト	2.3	10.3	-8.4	125	-8	-32
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	三菱UFJ国際	-2.7	8.9	-37.9	440	-5	-9
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円)(毎月分配型)	野村	1.5	7.3	-0.8	69	-1	-16
ダイワ米国株ストラテジー α<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	2.7	5.3	-17.1	1,192	-65	-143
MLP関連証券ファンド(為替ヘッジなし)	三井住友トラスト	-2.3	3.8	-35.8	179	-5	-11
ダイワ・ミレーアセット・グローバル好配当株 α(毎月分配)(ブラジル・レアル)	大和	4.7	3.1	-15.1	85	-5	-9
ワールド・バリュー・アロケーション A(為替ヘッジあり)	アムンディ	-0.4	2.4	-0.2	129	-1	-0
資源株ファンド(株式と通貨)南アフリカランド	日興	0.7	2.3	-36.4	63	-2	-9
ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)通貨 α	大和	-2.0	1.5	-27.8	86	-2	-18

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

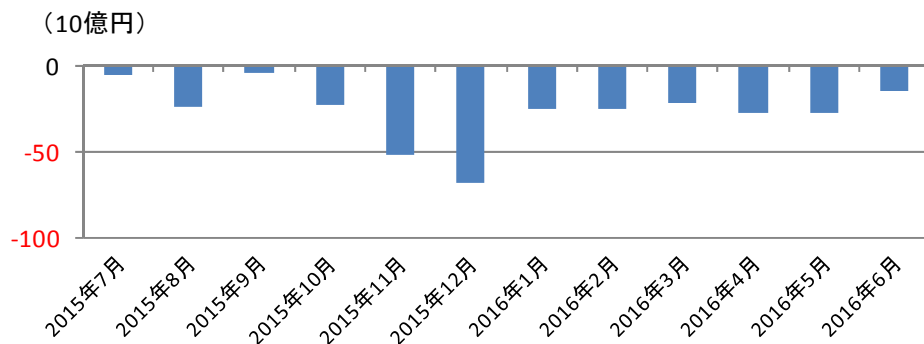
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ブラックロック・ゴールド・ファンド	ブラックロック	14.2	56.9	25.4	172	14	16
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	7.3	22.3	-21.4	551	15	67
資源株ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	7.3	22.2	-21.5	331	-13	-54
野村ドイチェ高配当インフラ関連株投資(BRレアル)毎月	野村	5.6	15.3	-11.0	455	-9	-48
ダイワ・ミレーアセット・グローバル好配当株 α(毎月分配)(ブラジル・レアル)	大和	4.7	3.1	-15.1	85	-5	-9
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	三菱UFJ国際	4.7	27.7	-26.0	79	-0	15
ダイワ・ミレー・Gグレートコンシューマー株式会社FII(BRレアル)(毎月分配)	大和	2.9	-1.8	-18.6	52	-3	-13
ダイワ・インフラビジネス・ファンド(為替ヘッジあり)	大和	2.8	10.3	-4.2	58	-2	-10
ダイワ米国株ストラテジー α<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	2.7	5.3	-17.1	1,192	-65	-143
世界インフラ関連好配当株株式 通貨選択型F(ブラジルレアル)	三井住友トラスト	2.3	10.3	-8.4	125	-8	-32
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円)(毎月分配型)	野村	1.5	7.3	-0.8	69	-1	-16
資源株ファンド(株式と通貨)南アフリカランド	日興	0.7	2.3	-36.4	63	-2	-9
野村ドイチェ高配当インフラ関連株投資(通貨セレクト)毎月	野村	-0.1	-1.1	-18.4	149	-2	-10
野村ドイチェ高配当インフラ関連株投資(豪ドル)毎月	野村	-0.3	-2.7	-16.3	160	-3	-19
世界好配当アドバンストインフラ株式F(豪ドル)	新光	-0.3	-7.4	-21.9	45	-1	-7

💡 ブラジル株式は年初来で2割の上昇。

- 資金流出入は12カ月連続で流出。新規設定ファンドにまとまった資金流入があったが、既存大型ファンドから流出が続く。
- 過去6カ月のリターン上位は、ブラジル株式が独占。実質的な政権交代による経済改善期待が牽引した。
- 過去1カ月のリターン上位は、ブラジル、インドネシアなど。エマージング株式全体では円高の影響でマイナスも、Brexitの影響は限定的。

<資金流出入金額推移>



※資金流出入は残高の制約をしていますが、従って、リターンの表には掲載されないファンドもあります。

<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
シュローダー・アジアバシフィック・エクセレント・カンパニーズ	シュローダー	95	95	95	95	-	-
野村インド株投資	野村	78	83	40	874	-7.0	-11.9
T&Dインド中小型株ファンド	T&Dアセット	13	5	19	97	-5.1	-15.0
中華圏株式ファンド(毎月分配型)	日興	7	51	70	72	-5.3	-25.4
リアル・インド株式ファンド(3ヵ月決算型)	新光	5	-0	8	53	-7.4	-15.5
ダイワノミレーアセット亜細亜株式ファンド	大和	3	275	275	262	-7.9	-
先進国資本エマージング株式ファンド(1年決算型)	日興	2	2	2	2	-	-
(ノムラ・アジアS)ノムラ・印度・フォーカス	野村	2	-5	-23	92	-6.0	-13.3
アジア・エキイティ・インカム・ファンド(毎月分配型)	日本アジア	2	4	-6	35	-6.8	-16.6
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	2	2	7	122	5.0	15.8
ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和	2	-1	-8	133	-6.1	-15.8
eMAXIS新興国株式インデックス	三菱UFJ国際	2	11	24	219	-4.7	-10.9
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)(ツインα)	T&Dアセット	2	7	7	8	6.2	8.9
フィデリティ・新興国厳選株ファンドA(米ドル売り円買い)	フィデリティ	1	1	1	1	-	-
ドイチェ・ロシア東欧株式ファンド	ドイチェ	1	5	-1	56	-8.2	-6.1

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
HSBCブラジルオープン	HSBC	7.9	19.8	-23.7	337	-3	-12
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	7.4	16.9	-22.3	88	-1	-6
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	5.9	16.7	-25.2	95	-1	-2
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	5.0	15.8	-18.6	122	2	2
野村新中国株投資	野村	-5.9	15.5	0.1	47	-2	-19
HSBCロシアオープン	HSBC	-7.1	2.7	-14.1	65	-1	-2
ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド	大和	-4.8	1.8	-19.8	91	-3	-14
DWSロシア株式ファンド	ドイチェ	-6.1	0.8	-11.2	40	-3	-11
日興フォルティス中国A株ファンド	BNPパリバ	-3.6	-0.5	-11.9	40	-1	-10
シュローダー・ラテンアメリカ株投資	シュローダー	0.6	-1.2	-24.4	67	-1	-5
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	イーストスプリ	0.2	-2.3	-12.7	142	-3	-23
HSBC BRICsオープン	HSBC	-3.5	-3.6	-22.5	82	-1	-3
HSBC新BRICsファンド	HSBC	-3.5	-3.7	-22.7	56	-0	-2
JPM・BRICs5・ファンド	JPモルガン	-4.0	-3.9	-24.1	238	-2	-8
CAMベトナムファンド	CAM	-0.4	-4.9	-4.8	61	-0	-7

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

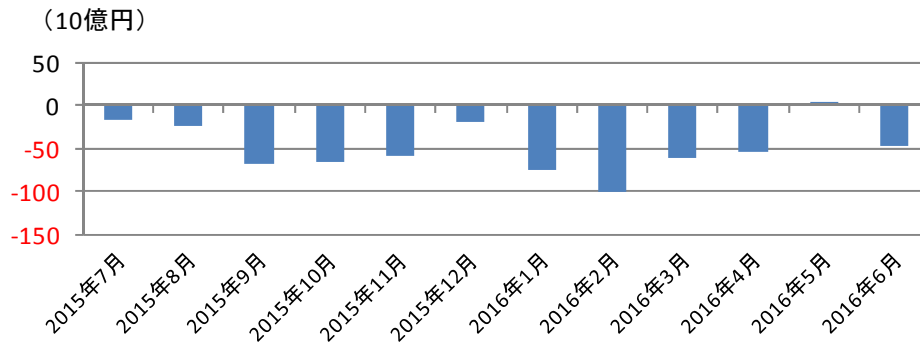
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
HSBCブラジルオープン	HSBC	7.9	19.8	-23.7	337	-3	-12
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	7.4	16.9	-22.3	88	-1	-6
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	5.9	16.7	-25.2	95	-1	-2
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	5.0	15.8	-18.6	122	2	2
シュローダー・ラテンアメリカ株投資	シュローダー	0.6	-1.2	-24.4	67	-1	-5
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	イーストスプリ	0.2	-2.3	-12.7	142	-3	-23
CAMベトナムファンド	CAM	-0.4	-4.9	-4.8	61	-0	-7
ダイワ・アセアン内需関連株ファンド	大和	-2.4	-6.1	-18.5	47	-1	-5
DIAM VIPフォーカス・ファンド	DIAM	-2.5	-9.4	-21.5	64	-1	-5
ダイワ・ライジング・アセアン株式ファンド	大和	-2.9	-7.9	-19.0	186	-5	-30
日興・アパディーン・インフラ・ファンド	アパディーン	-3.4	-5.5	-24.7	82	-1	-4
日興新世代新興国株式ファンド	日興	-3.4	-7.8	-22.1	49	-1	-3
HSBC BRICsオープン	HSBC	-3.5	-3.6	-22.5	82	-1	-3
JPMアセアン成長株オープン	JPモルガン	-3.5	-6.4	-18.0	97	-1	-7
HSBC新BRICsファンド	HSBC	-3.5	-3.7	-22.7	56	-0	-2

💡 資金流出超の流れが続く

- 先月は11か月ぶりの資金流入超となったが、今月に入ると再び500億円程度の流出超となった。
- 6か月リターンではブラジルリアル型ファンドが優勢となり上位を占めた。
- 1か月リターンでは急速な円高の進行を背景に、円ヘッジ型ファンドが目立つ。

<資金流入金額推移>



※資金流入は残高の制約をしていません。従って、リターンの表には掲載されないファンドもあります。

<資金流入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
東京海上・ニッポン 世界債券F(為替ヘッジあり)	東京海上	101	182	214	1,054	0.5	3.6
バインブリッジ金融公社ハイブリッド証券F2016-06(為替ヘッジあり)	バインブリッジ	99	99	99	99	-	-
UBS世界公共インフラ債券投資 円(毎月分配型)	UBS	98	230	201	2,296	1.9	6.2
ダイワ高格付日本企業外債F(為替ヘッジあり)2016-06	大 和	92	92	92	93	-	-
みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券2016-05(為替ヘッジあり)	大 和	39	90	90	89	-0.1	-
野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	野 村	38	49	54	99	1.3	2.6
コーポレート・ボンド・インカム(為替ノーヘッジ型)	三井住友	35	103	118	159	-5.4	-9.3
三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際	33	109	-66	2,016	-2.1	-8.0
豪ドル毎月分配型ファンド	三菱UFJ国際	31	96	56	697	-3.7	-11.5
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドA	野 村	27	48	48	48	-0.2	-
コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	三井住友	26	45	15	204	1.6	5.0
UBSオーストラリア債券オープン(毎月分配型)	UBS	23	27	-28	864	-2.7	-8.7
BAMワールド・ボンド&カレンシーF(毎月決算)	ベアリング	20	82	92	950	1.2	4.1
Gコーポレート・ハイブリッド証券(ヘッジあり)16-06(限定追加型)	野 村	20	20	20	20	-	-
GSフォーカス・スイールド・ボンド(毎月決算)	G S	19	19	19	19	-	-

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
UBS世界公共インフラ債券投資 ブラジルリアル(毎月分配型)	UBS	4.2	11.6	-6.0	201	-1	-15
三菱UFJ米国バンクローンF<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	5.1	9.5	-8.9	63	-0	-7
新光・ハイブリッド証券ファンド(ブラジルリアル)	新 光	5.1	9.0	-5.7	144	-2	-9
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券F<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	東京海上	4.7	8.5	-6.5	90	-1	-17
先進国投資適格債券ファンド(為替ヘッジあり)	みずほ	2.6	8.5	6.8	79	-1	-15
DWSグローバル公益債券ファンド(年1回決算型)C	ドイツ	2.3	7.0	4.3	56	-1	-3
DWSグローバル公益債券ファンドA(毎月分配型)	ドイツ	2.3	6.9	4.3	1,072	-16	-104
三井住友・公益債券投資(毎月決算型)	三井住友	2.3	6.8	4.3	145	-3	-14
UBS公益・金融社債ファンド(為替ヘッジあり)	UBS	1.8	6.5	5.0	242	2	-24
フィデリティ・ストラテジック・インカムF A	フィデリティ	1.4	6.4	2.5	1,019	-39	-178
UBS世界公共インフラ債券投資 円(年2回決算型)	UBS	1.9	6.2	5.5	246	14	37
UBS世界公共インフラ債券投資 円(毎月分配型)	UBS	1.9	6.2	5.5	2,296	98	230
三菱UFJヘッジ付外国債券オープン	三菱UFJ国際	2.5	5.7	6.9	166	-48	70
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジあり)	三井住友	1.5	5.0	-	50	-3	-8
コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	三井住友	1.6	5.0	5.6	204	26	45

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

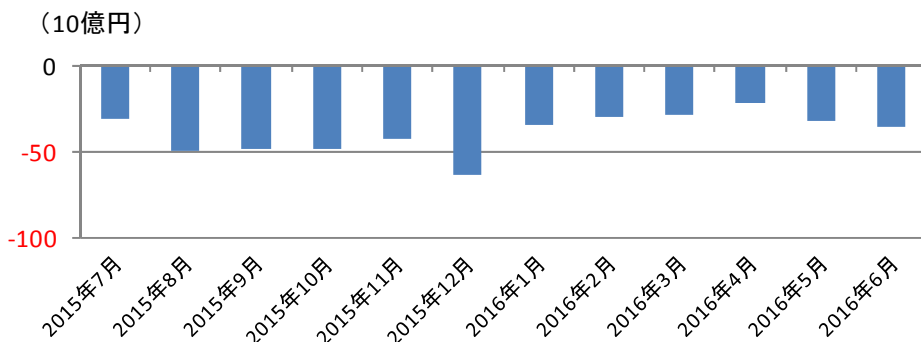
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
新光・ハイブリッド証券ファンド(ブラジルリアル)	新 光	5.1	9.0	-5.7	144	-2	-9
三菱UFJ米国バンクローンF<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	5.1	9.5	-8.9	63	-0	-7
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券F<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	東京海上	4.7	8.5	-6.5	90	-1	-17
UBS世界公共インフラ債券投資 ブラジルリアル(毎月分配型)	UBS	4.2	11.6	-6.0	201	-1	-15
先進国投資適格債券ファンド(為替ヘッジあり)	みずほ	2.6	8.5	6.8	79	-1	-15
三菱UFJヘッジ付外国債券オープン	三菱UFJ国際	2.5	5.7	6.9	166	-48	70
DWSグローバル公益債券ファンド(年1回決算型)C	ドイツ	2.3	7.0	4.3	56	-1	-3
三井住友・公益債券投資(毎月決算型)	三井住友	2.3	6.8	4.3	145	-3	-14
DWSグローバル公益債券ファンドA(毎月分配型)	ドイツ	2.3	6.9	4.3	1,072	-16	-104
UBS世界公共インフラ債券投資 円(年2回決算型)	UBS	1.9	6.2	5.5	246	14	37
UBS世界公共インフラ債券投資 円(毎月分配型)	UBS	1.9	6.2	5.5	2,296	98	230
UBS公益・金融社債ファンド(為替ヘッジあり)	UBS	1.8	6.5	5.0	242	2	-24
世界投資適格債券オープン 円(毎月決算型)	三菱UFJ国際	1.7	4.9	4.8	214	-9	-81
コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	三井住友	1.6	5.0	5.6	204	26	45
ダイワ米国債券ファンドラダー10-(為替ヘッジあり)	大 和	1.6	3.5	3.3	54	3	-19

💡 ブラジルリアルが反発。

- 資金流出入は16か月連続流出。純資産が500億円以上の12本のうち、流出は10本、流入は2本（どちらもインド債券）。
- 過去6か月のリターン上位は、ブラジルリアル、円ヘッジファンド。リターン下位はメキシコペソ、インドルピー。
- 過去1か月のリターン上位は、ブラジルリアル。リターン下位はインドルピー。昨年後半から対円でインドルピー安が継続している。

<資金流出入金額推移>



※資金流出入は残高の制約をしていません。従って、リターンの表には掲載されないファンドもあります。

<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産 残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
アジア社債ファンドB(為替ヘッジなし)	日興	31	119	114	325	-5.6	-11.0
野村インド債券ファンド(毎月分配型)	野村	28	147	366	695	-6.8	-11.6
ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	14	157	388	617	-7.3	-13.0
UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)	UBS	13	36	48	199	4.2	17.6
アジア社債ファンドA(為替ヘッジあり)	日興	12	29	20	47	0.6	3.5
イーストスプリング・インドネシア債券オープン(毎月決算)	イーストスプリ	4	15	4	392	-1.8	-1.6
メキシコ債券オープン(毎月分配型)	大和住銀	3	-12	-47	306	-5.8	-18.1
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(年2回決算型)	イーストスプリ	3	2	33	78	-7.0	-12.5
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン B	三菱UFJ国際	3	-2	-39	171	2.8	9.3
GSエマージング通貨債券ファンド	G S	2	11	2	165	-3.1	-5.1
メキシコ・ボンド・オープン(毎月決算)	大和	2	0	-2	19	-5.5	-17.8
野村新エマージング債券投信(円)毎月分配型	野村	2	-6	-27	117	3.6	10.1
国際インド債券オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際	1	17	49	64	-6.7	-11.4
ダイワ・インドルピー債オープン(毎月分配型)	大和	1	2	2	18	-6.8	-11.6
LM・ブラジル国債ファンド(年2回決算)	L M	1	1	0	26	4.7	12.3

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産 残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	8.6	23.8	-11.5	51	-1	-9
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	5.2	21.3	-5.0	352	-3	-17
DIAM新興国ソブリンオープン<ブラジルリアル>	DIAM	9.6	18.9	-1.5	281	-7	-34
ブラデスコブラジル債券ファンド(分配重視型)	三菱UFJ国際	5.0	18.5	-7.0	95	0	-7
野村エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	T&Dアセット	8.1	18.3	-4.5	310	-0	-3
野村新エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	8.3	17.6	-3.8	174	-2	-11
UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)	UBS	4.2	17.6	-6.3	199	13	36
UBSブラジル・リアル債券投信(年2回決算型)	UBS	4.2	17.4	-6.7	89	-2	7
DWSブラジル・リアル債券ファンド(毎月分配型)	ドイチエ	4.5	17.1	-7.7	133	-1	-6
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)	三井住友	8.1	16.7	-2.1	574	-28	-104
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	8.2	16.4	-5.1	869	-8	-43
新興国公社債オープン ブラジル・リアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	7.2	16.3	-4.6	63	-1	-6
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(ブラジルリアル)	日興	8.7	16.3	-7.4	103	-6	-22
(通貨選択EBF)ブラジルリアルコース(毎月分配型)	大和住銀	7.8	15.3	-3.8	663	-8	-61
りそなブラジル・ソブリン・ファンド(毎月決算型)	大和	4.5	14.1	-6.5	116	-2	-11

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

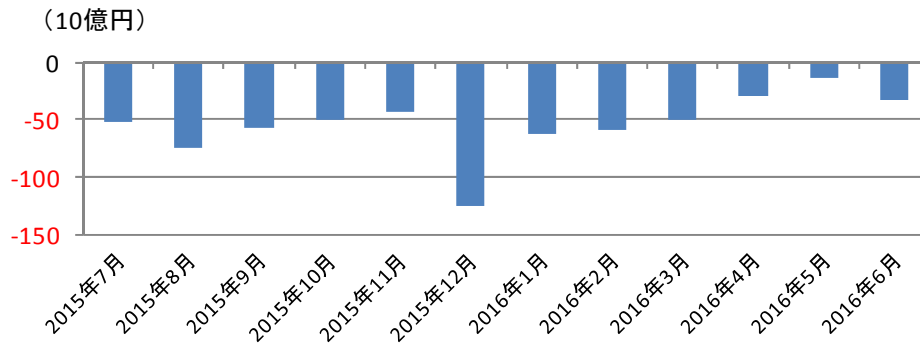
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産 残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
DIAM新興国ソブリンオープン<ブラジルリアル>	DIAM	9.6	18.9	-1.5	281	-7	-34
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(ブラジルリアル)	日興	8.7	16.3	-7.4	103	-6	-22
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	8.6	23.8	-11.5	51	-1	-9
野村新エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	8.3	17.6	-3.8	174	-2	-11
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	8.2	16.4	-5.1	869	-8	-43
野村エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	T&Dアセット	8.1	18.3	-4.5	310	-0	-3
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)	三井住友	8.1	16.7	-2.1	574	-28	-104
(通貨選択EBF)ブラジルリアルコース(毎月分配型)	大和住銀	7.8	15.3	-3.8	663	-8	-61
新興国公社債オープン ブラジル・リアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	7.2	16.3	-4.6	63	-1	-6
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	5.2	21.3	-5.0	352	-3	-17
ブラデスコブラジル債券ファンド(分配重視型)	三菱UFJ国際	5.0	18.5	-7.0	95	0	-7
LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配)	L M	4.7	12.3	-11.9	549	-4	-27
ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	大和	4.5	14.1	-6.7	1,485	-43	-216
ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(毎月分配型)	大和	4.5	14.1	-6.4	556	-12	-58
DWSブラジル・リアル債券ファンド(毎月分配型)	ドイチエ	4.5	17.1	-7.7	133	-1	-6

💡 23カ月連続の資金流出。

- 資金流入は23カ月連続の流出超となり、流出額も前月より増加。米利上げペースの減速観測が強まるも、今のところ流出のペースには影響が小さい。
- 過去6カ月のリターンは、上位がブラジルリアル連動、下位はメキシコペソ連動。
- 過去1カ月のリターンは、上位がブラジルリアル連動、円ヘッジ、下位はメキシコペソ連動、ユーロ連動。

<資金流入金額推移>



※資金流入は残高の制約をしていません。従って、リターンの表には掲載されないファンドもあります。

<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産 残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
野村米国ハイ・イールド債券投信(円)毎月分配型	野村	61	139	130	289	-0.5	5.6
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	36	129	-17	938	1.5	10.9
フィデリティ・USハイ・イールドF	フィデリティ	32	-173	-303	7,668	-7.3	-9.4
アジアハイ・イールド・プラス(為替ヘッジなし)	岡三	21	7	79	266	-6.1	-10.7
みずほUSハイ・イールドオープンB	みずほ	11	31	125	773	-6.4	-8.5
野村米国ハイ・イールド債券投信(円)年2回決算型	野村	10	23	23	38	-0.5	5.6
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアル)年2回決算型	野村	8	27	26	48	1.3	11.1
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドル)毎月分配型	野村	8	13	-3	142	-6.8	-9.1
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	6	-4	55	456	6.8	16.1
米国ハイ・イールド債券ファンド ブラジルリアル	みずほ	4	6	-24	212	5.5	13.4
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドル)年2回決算型	野村	3	6	2	41	-6.8	-9.2
米国短期ハイ・イールド債券オープン	岡三	3	-3	-20	77	-6.4	-11.2
野村PIMCO米国ハイ・イールド債券投信(円)毎月	野村	2	5	3	41	-0.1	4.5
ミュージック米国BDCファンド(為替ヘッジあり)毎月分配型	日興	2	2	3	25	2.2	5.8
フィデリティ・USハイ・イールドF(資産成長型)	フィデリティ	2	20	23	169	-7.3	-9.3

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン(%)			純資産 残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	6.8	16.1	-9.6	456	6	-4
ダイワ/フィデリティ・アジアハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)(毎月分配型)	大和	6.2	14.6	-5.3	116	-2	-10
新光グローバルハイ・イールド債券ファンド(ブラジルリアル)	新光	6.9	14.5	-9.7	226	-3	-31
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(ブラジルリアル)	日興	7.6	14.4	-7.8	300	-22	-59
アムンディ・リソナ米国ハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)	アムンディ	3.7	13.5	-13.0	242	-2	-18
米国ハイ・イールド債券ファンド ブラジルリアル	みずほ	5.5	13.4	-8.8	212	4	6
米国ハイ・イールド債券オープン ブラジルリアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	4.7	13.4	-12.4	58	-1	-3
ダイワ米国高金利社債F ブラジルリアル(毎月分配型)	大和	5.6	13.3	-12.0	216	-3	-12
リソナアジア・ハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)	損保日本興亜	4.4	12.8	-2.7	82	-1	-6
PIMCO米国ハイ・イールド債券通貨選択型F(ブラジルリアル)	三井住友トラスト	5.4	12.4	-8.7	660	-29	-263
三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンド	三井住友	5.5	11.9	-8.8	158	-4	-28
野村PIMCO米国ハイ・イールド債券投信(BRリアル)毎月	野村	5.3	11.8	-8.7	89	1	3
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	1.5	10.9	-14.5	938	36	129
DWS欧州ハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)(毎月分配型)	ドイチェ	2.5	9.0	-8.5	823	-5	-16
三菱UFJ新興国高利回り社債F<円>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	1.4	8.9	-0.3	106	-4	-19

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

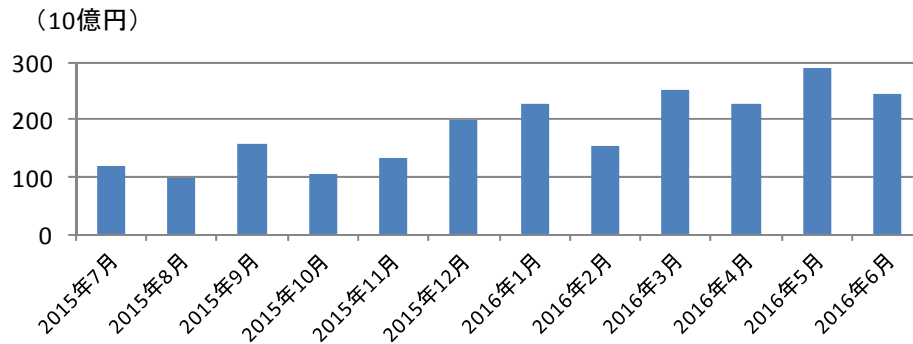
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン(%)			純資産 残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(ブラジルリアル)	日興	7.6	14.4	-7.8	300	-22	-59
新光グローバルハイ・イールド債券ファンド(ブラジルリアル)	新光	6.9	14.5	-9.7	226	-3	-31
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	6.8	16.1	-9.6	456	6	-4
ダイワ/フィデリティ・アジアハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)(毎月分配型)	大和	6.2	14.6	-5.3	116	-2	-10
ダイワ米国高金利社債F ブラジルリアル(毎月分配型)	大和	5.6	13.3	-12.0	216	-3	-12
三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルリアルファンド	三井住友	5.5	11.9	-8.8	158	-4	-28
米国ハイ・イールド債券ファンド ブラジルリアル	みずほ	5.5	13.4	-8.8	212	4	6
PIMCO米国ハイ・イールド債券通貨選択型F(ブラジルリアル)	三井住友トラスト	5.4	12.4	-8.7	660	-29	-263
野村PIMCO米国ハイ・イールド債券投信(BRリアル)毎月	野村	5.3	11.8	-8.7	89	1	3
米国ハイ・イールド債券オープン ブラジルリアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	4.7	13.4	-12.4	58	-1	-3
リソナアジア・ハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)	損保日本興亜	4.4	12.8	-2.7	82	-1	-6
アムンディ・リソナ米国ハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)	アムンディ	3.7	13.5	-13.0	242	-2	-18
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)	アムンディ	2.7	8.4	-8.5	658	-12	-69
DWS欧州ハイ・イールド債券F(ブラジルリアル)(毎月分配型)	ドイチェ	2.5	9.0	-8.5	823	-5	-16
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	1.5	10.9	-14.5	938	36	129

内外ともに資金流入継続。

- 6月の国内REITは資金流入が継続。月初から英国のEU離脱懸念から冴えない展開が続き、リターンはマイナスとなった。
- 内外ともにREITの資金流入が継続しているが、欧州REITだけは資金流出が継続。
- 直近6か月、直近1か月のリターンは、米国REITが上位に。

<資金流入金額推移>



※資金流入は残高の制約をしていません。従って、リターンの表には掲載されないファンドもあります。

<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
フィデリティ・USリート・ファンド B	フィデリティ	885	4,465	6,407	13,441	-2.1	-5.5
新光US-REITオープン	新光	629	3,498	4,549	14,871	-2.2	-7.0
ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	日興	259	2,057	3,268	12,493	-4.7	-9.3
ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)B	大和	180	1,199	1,843	6,657	-2.2	-7.7
GS米国REITファンドB(毎月分配型・為替ヘッジなし)	G S	150	914	1,750	2,922	-1.3	-3.7
ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	大和	134	184	489	1,967	-2.4	6.8
ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際	127	1,143	1,504	6,156	-3.4	-7.1
ダイワ米国リート・ファンド(毎月分配型)	大和	95	695	1,239	7,151	-2.1	-7.6
オーストラリアREIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	87	188	215	211	-3.1	-2.4
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)ブラジルレアル	みずほ	71	81	81	136	1.1	11.3
しんきんリートオープン(毎月決算型)	しんきん	67	182	515	2,325	-2.7	6.6
フィデリティ・USリート・ファンド A	フィデリティ	33	75	91	168	4.9	9.6
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)円	みずほ	30	65	71	90	-3.8	3.1
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)豪ドル	みずほ	28	43	45	55	-6.5	-8.0
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)米ドル	みずほ	26	50	71	100	-9.8	-10.3

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
野村北米REIT投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	野村	8.5	14.6	6.3	86	-1	-6
通貨選択型米国リート・αクワトロ(毎月分配)	大和	8.4	12.7	5.5	84	9	18
GS米国REITファンドA(毎月分配型・為替ヘッジあり)	G S	6.0	12.1	17.0	437	1	-13
グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド(毎月分配型)	SBI	7.3	12.0	-2.3	235	1	-8
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)ブラジルレアル	みずほ	1.1	11.3	-7.3	136	71	81
ドイチェ・グローバルREIT投信(ブラジルレアル)(毎月分配型)	ドイチェ	3.7	10.8	-3.1	243	5	11
東京海上J-REIT投信(ブラジルレアル)毎月分配型	東京海上	-0.6	10.7	-9.5	649	-11	52
フィデリティ・USリート・ファンド A	フィデリティ	4.9	9.6	22.4	168	33	75
フィデリティ・リート・アクティブ・ファンド	フィデリティ	-2.4	8.8	8.0	86	12	30
Jリートファンド	三井住友トラスト	-2.1	8.0	6.3	816	13	-98
野村ワールドリート通貨選択型ファンド(レアル)	野村	4.4	7.7	-8.3	36	-2	-12
野村日本不動産投信(毎月分配型)	野村	-2.4	7.3	6.0	916	-5	5
eMAXIS国内リートインデックス	三菱UFJ国際	-2.4	7.1	5.5	135	2	2
SMT J-REITインデックス・オープン	三井住友トラスト	-2.4	7.0	5.4	134	1	-5
ニッセイJリートインデックスファンド<購入・換金手数料なし>	ニッセイ	-2.4	6.9	5.3	80	-2	-7

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

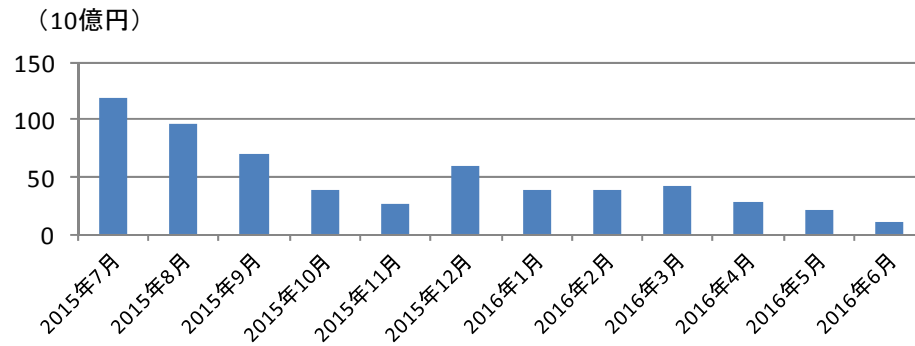
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
野村北米REIT投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	野村	8.5	14.6	6.3	86	-1	-6
通貨選択型米国リート・αクワトロ(毎月分配)	大和	8.4	12.7	5.5	84	9	18
グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド(毎月分配型)	SBI	7.3	12.0	-2.3	235	1	-8
GS米国REITファンドA(毎月分配型・為替ヘッジあり)	G S	6.0	12.1	17.0	437	1	-13
フィデリティ・USリート・ファンド A	フィデリティ	4.9	9.6	22.4	168	33	75
野村ワールドリート通貨選択型ファンド(レアル)	野村	4.4	7.7	-8.3	36	-2	-12
ドイチェ・グローバルREIT投信(ブラジルレアル)(毎月分配型)	ドイチェ	3.7	10.8	-3.1	243	5	11
アジアREIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	2.0	0.0	-8.4	70	-2	-13
ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型)	大和	1.6	5.0	10.5	113	-2	-17
楽天USリート・トリプルエンジン(レアル)毎月分配型	楽天	1.3	-4.8	-16.5	625	-26	-75
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型)ブラジルレアル	みずほ	1.1	11.3	-7.3	136	71	81
DIAM米国優先リートファンド<為替ダイナミックヘッジ>	DIAM	0.4	0.6	2.4	37	-4	-26
明治安田米国リート・インカム・プレミアムF(毎月決算型)	明治安田	0.3	-2.4	-1.8	386	-13	-74
アジア好利回りリート・ファンド	三井住友	-0.0	-1.2	-6.7	2,490	-181	-157
東京海上J-REIT投信(ブラジルレアル)毎月分配型	東京海上	-0.6	10.7	-9.5	649	-11	52

💡 東京海上・円資産バランスファンドが4ヵ月連続の流入トップ。

- 安定的に資金流入が継続、ただし流入額は伸び悩み気味。数少ない資金流入資産の一角を保っている。
- 国内債券・J-REIT・国内株式の3資産を組み入れる「東京海上・円資産バランスファンド」は4ヵ月連続で資金流入1位となった。公募ファンド全体でも、4ヵ月連続でトップ10入りを果たす。

<資金流出入金額推移>



※資金流出入は残高の制約をしていません。従って、リターン表には掲載されないファンドもあります。

<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	東京海上	248	854	1,191	1,753	0.4	3.5
スマート・ファイブ(毎月決算型)	日興	51	128	185	388	-0.0	7.4
BNY Mellon・日本株式ファンド市場リスク管理型	BNY Mellon	26	27	26	37	-2.3	1.1
アムンティ・ダブルウォッチ	アムンティ	26	114	114	115	-0.3	-
東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	東京海上	25	78	101	113	0.4	3.5
リソナラップ型ファンド(安定型)	リソナAM	20	210	210	210	-1.3	-
ニッセイオーストラリア利回り資産F(毎月決算型)	ニッセイ	20	90	66	156	-5.0	-9.3
JPMベスト・インカム(毎月決算型)	JPMモルガン	19	131	389	501	-0.7	0.8
資源ツインαファンド(通貨選択型)米ドル	T&Dアセット	18	54	114	94	-1.9	-4.5
セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン	17	103	203	1,046	-7.6	-12.1
YMアセット・バランスファンド(安定タイプ)	ワイエムAM	14	14	14	14	-	-
しんきん世界アロケーションファンド	しんきん	13	35	46	71	1.2	5.7
ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	ビクテ	9	44	136	319	-0.3	-2.2
YMアセット・バランスファンド(成長タイプ)	ワイエムAM	9	9	9	9	-	-
のむらっぴ・ファンド(普通型)	野村	9	48	158	392	-6.1	-10.1

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略)	日興	6.2	16.6	-2.5	75	-2	-10
ダイワ新興国ハイインカム・プラス(積立型)	大和	2.7	8.2	4.2	68	-3	-16
日興アッシュモア新興国財産3分法毎月分配型(ブラジルリアル)	日興	3.9	7.4	-14.1	289	-14	-64
スマート・ファイブ(毎月決算型)	日興	-0.0	7.4	4.7	388	51	128
スマート・ファイブ(1年決算型)	日興	-0.0	7.3	4.6	69	2	-2
ファイン・ブレンド(毎月分配型)	日興	-0.0	7.2	4.5	80	2	16
ツインアケセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株式)2021-01	大和	-0.1	6.8	-6.2	150	-7	-55
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	東京海上	0.4	3.5	4.4	1,753	248	854
ツインアケセル(ブラジル国債&世界小型株式)2021-01	大和	-0.6	3.3	-13.8	49	-2	-10
先進国8資産分散ファンド	野村	0.6	2.7	-	87	-2	-10
投資のソムリエ	DIAM	0.7	2.5	0.5	322	0	-3
エマージング・プラス(円戦略)	日興	0.6	2.4	-6.4	48	-2	-11
三菱UFJバランス・イノベーション(株式抑制型)	三菱UFJ国際	-0.2	2.0	-0.3	549	0	57
三菱UFJバランス・イノベーション(債券重視型)	三菱UFJ国際	-0.2	1.9	1.1	138	-3	64
新生・ワールドラップ・ファンド(安定コース)1510	新生	0.8	1.9	-	64	-0	-0

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

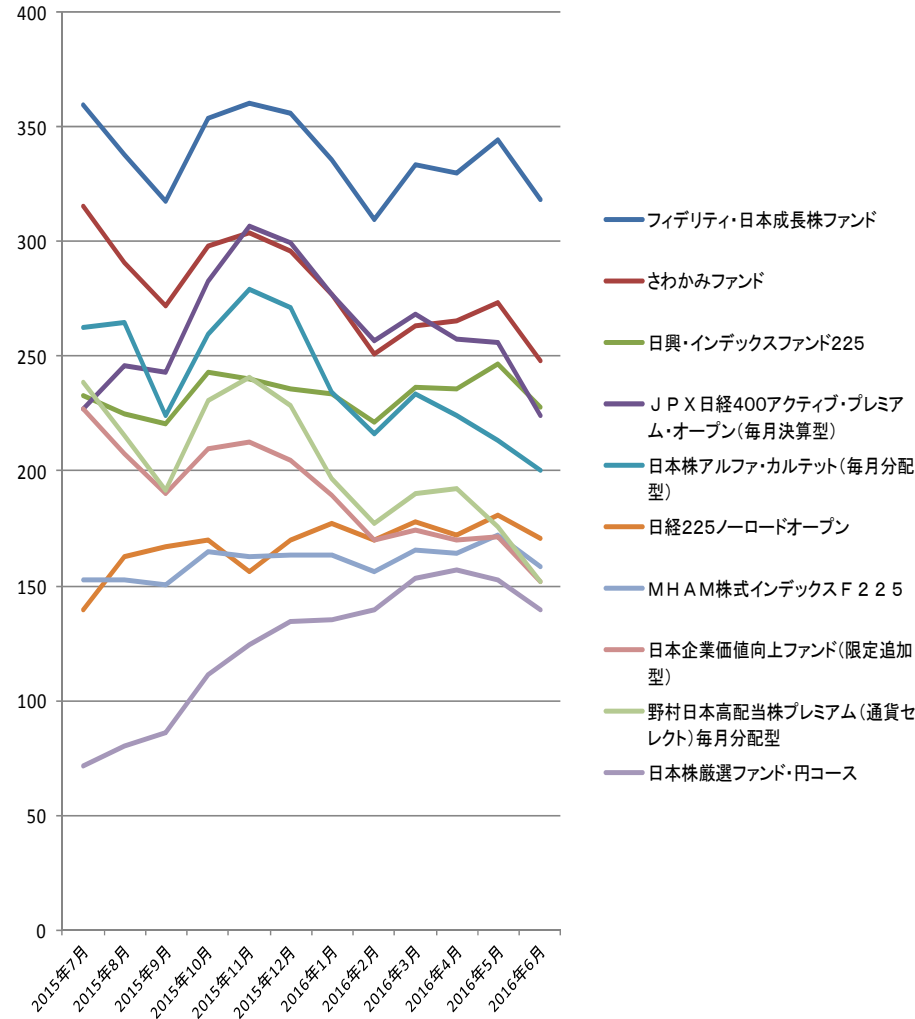
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略)	日興	6.2	16.6	-2.5	75	-2	-10
日興アッシュモア新興国財産3分法毎月分配型(ブラジルリアル)	日興	3.9	7.4	-14.1	289	-14	-64
ダイワ新興国ハイインカム・プラス(積立型)	大和	2.7	8.2	4.2	68	-3	-16
トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJ国際	1.5	0.8	-1.1	977	-0	61
新生・ワールドラップ・ファンド(安定コース)1510	新生	0.8	1.9	-	64	-0	-0
投資のソムリエ	DIAM	0.7	2.5	0.5	322	0	-3
先進国8資産分散ファンド	野村	0.6	2.7	-	87	-2	-10
エマージング・プラス(円戦略)	日興	0.6	2.4	-6.4	48	-2	-11
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	東京海上	0.4	3.5	4.4	1,753	248	854
野村カルミニヤック・ファンドA	野村	0.3	-0.3	-7.9	279	-7	-10
GS・世界資産配分オープン	G S	0.1	-0.8	-1.2	110	0	0
ニュー・ハイインカム・PF・円・1年更新	新光	0.0	0.7	-3.7	53	-2	-11
スマート・ファイブ(毎月決算型)	日興	-0.0	7.4	4.7	388	51	128
ファイン・ブレンド(毎月分配型)	日興	-0.0	7.2	4.5	80	2	16
スマート・ファイブ(1年決算型)	日興	-0.0	7.3	4.6	69	2	-2

【ご参考】資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移1

＜純資産残高上位10ファンド1＞

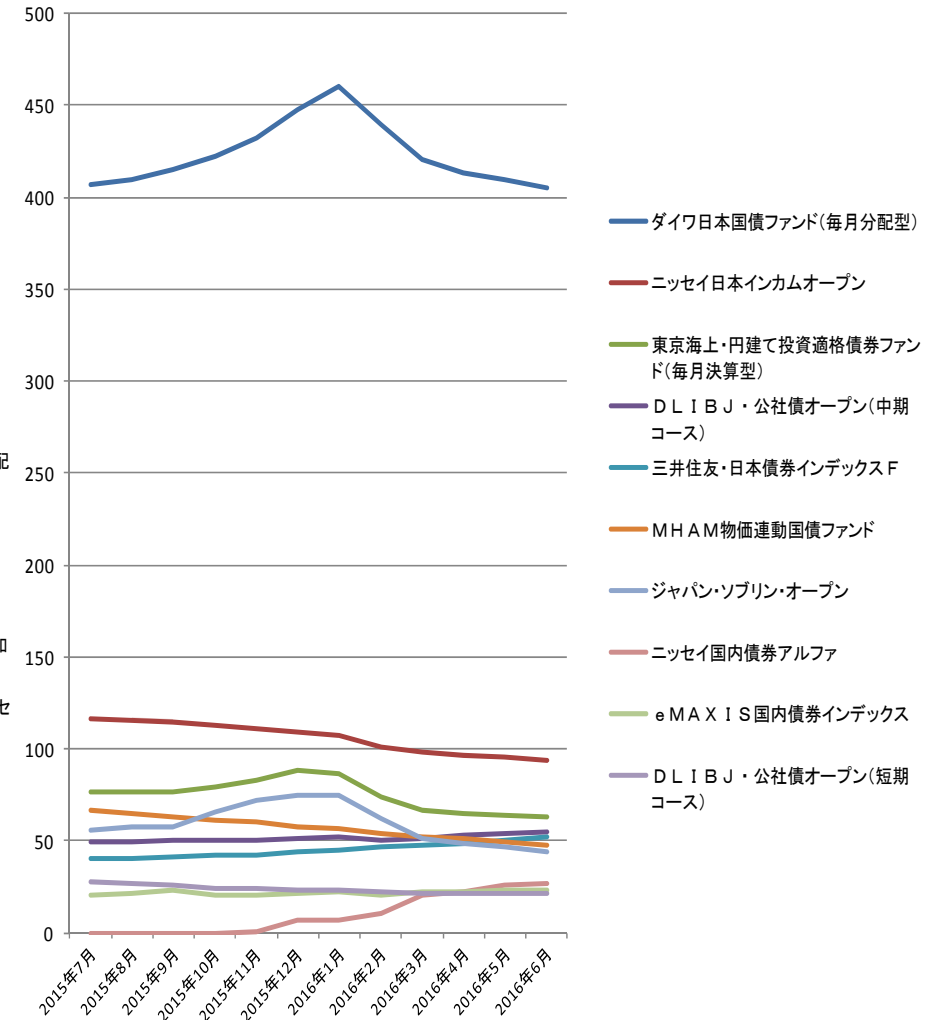
■国内株式

(10億円)



■国内債券

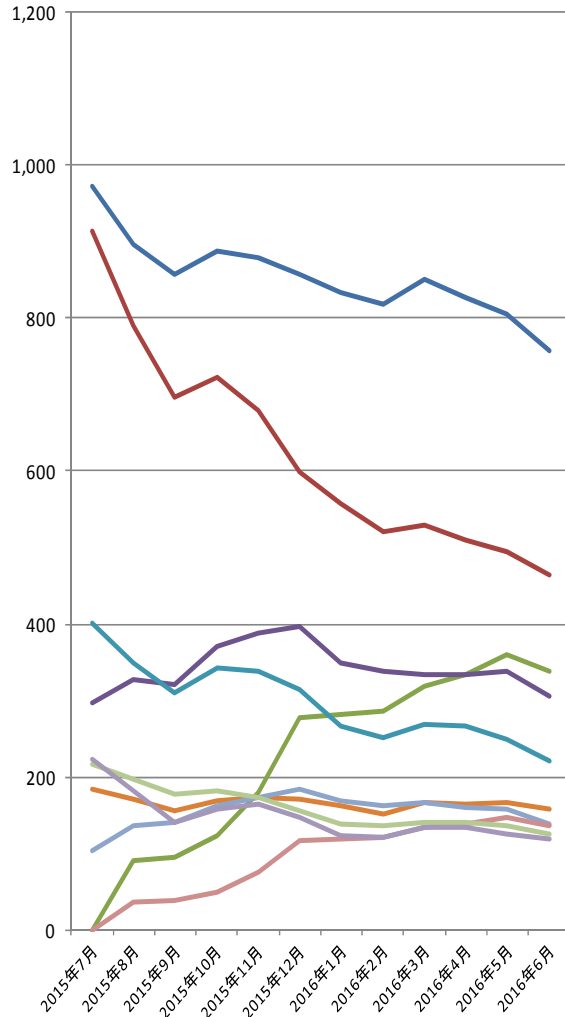
(10億円)



＜純資産残高上位10ファンド2＞

■先進国株式

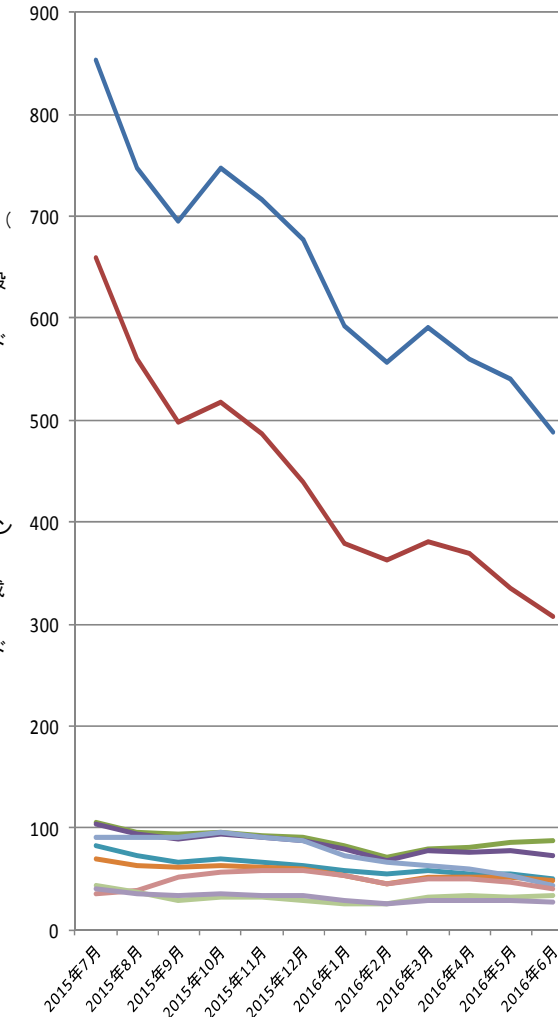
(10億円)



- ピクテ・グローバル・インカム株式 F (毎月分配型)
- 野村ドイチエ高配当インフラ関連株投信(米ドル)毎月
- グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
- グローバル・ヘルスケア&バイオ F
- 野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクト)毎月分配
- ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)
- アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 D
- グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)
- カナダ高配当株ツインα(毎月分配型)
- ダイワ米国株戦略ーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)

■エマージング株式

(10億円)

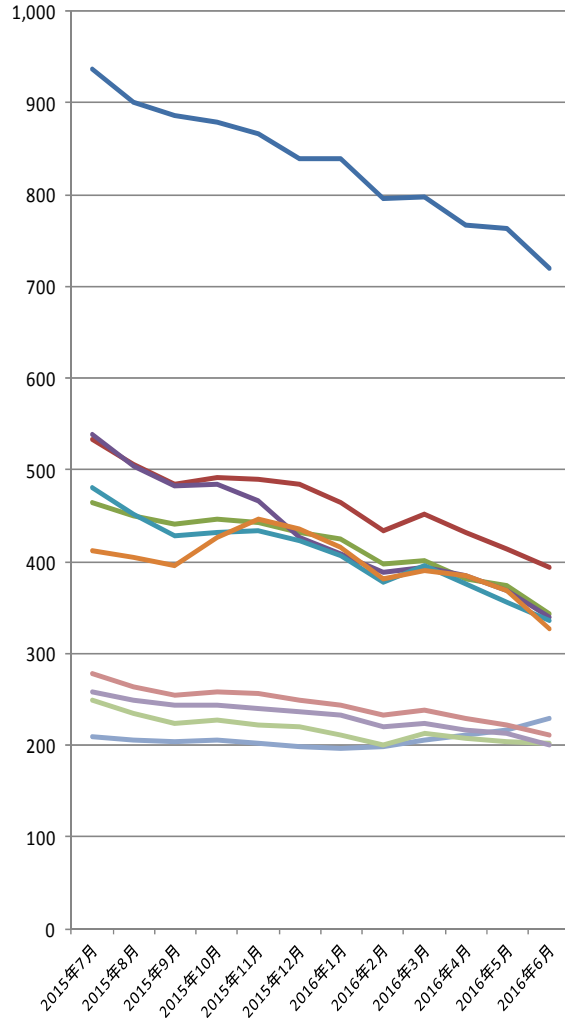


- アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
- ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)
- 野村インド株投資
- イーストスプリング・インド株式オープン
- 三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン
- HSBCインドオープン
- アジア・ヘルスケア株式ファンド
- 高成長インド・中型株式ファンド
- HSBCブラジルオープン
- イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド

<純資産残高上位10ファンド3>

■先進国債券

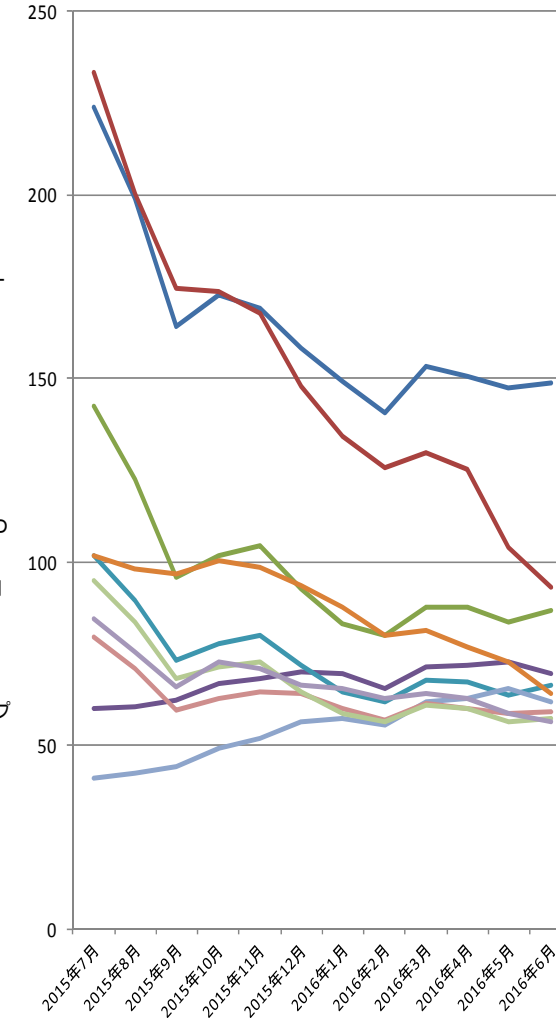
(10億円)



- グローバル・ソプリン・オープン(毎月決算型)
- ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)
- 高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
- ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)
- 短期豪ドル債オープン(毎月分配型)
- 野村テンプレトン・トータル・リターンD
- UBS世界公共インフラ債券投信円(毎月分配型)
- DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)
- 三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)
- ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)

■エマージング債券

(10億円)

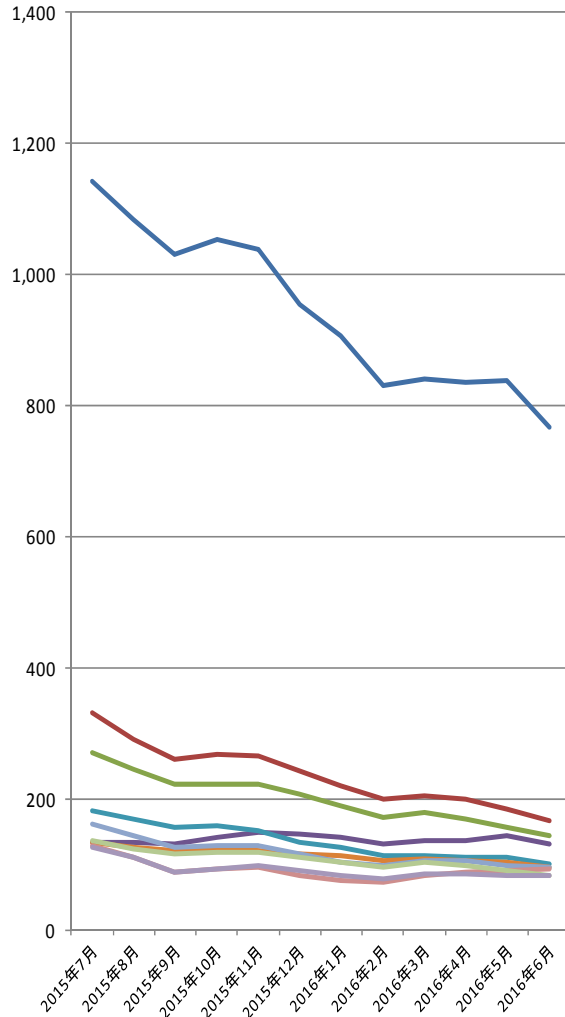


- ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)
- 日興ビコム・ハイインカム・ソプリンF毎月(トルコリラ)
- 三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)
- 野村インド債券ファンド(毎月分配型)
- (通貨選択EBF)ブラジルリアルコース(毎月分配型)
- インド債券ファンド(毎月分配型)
- ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)
- 新光ブラジル債券ファンド
- SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)
- HSBCインドネシア債券オープン(毎月決算型)

＜純資産残高上位10ファンド4＞

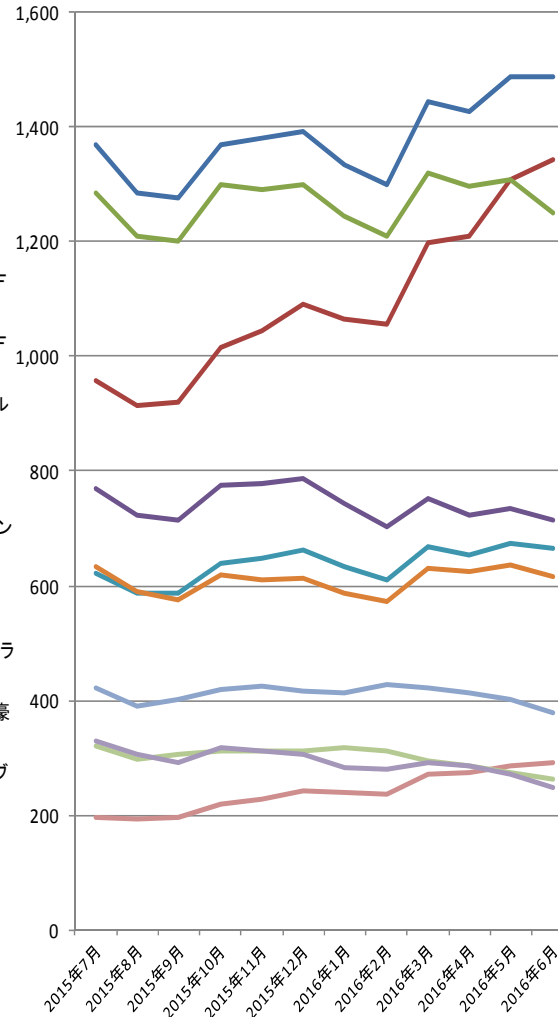
■ハイイールド債券

(10億円)



■REIT

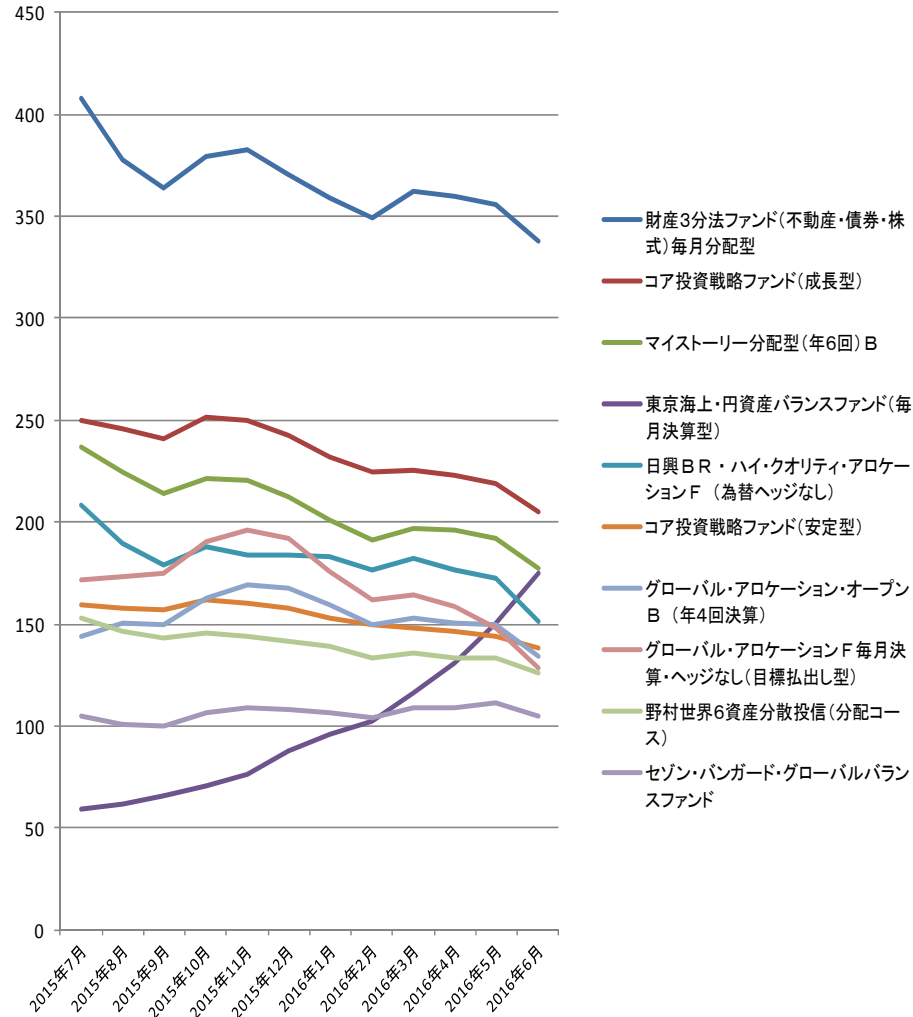
(10億円)



<純資産残高上位10ファンド5>

■ 複合資産

(10億円)



- **国内株式型**

国内株式を主たる投資対象とするファンド。

- **国内債券型**

国内債券を主たる投資対象とするファンド。

- **外国株式型**

外国株式のうち、先進国の株式を主たる投資対象とするファンド。先進国とはMSCI-KOKUSAI構成国とします。

- **エマージング株式型**

外国株式のうち、新興国の株式を主たる投資対象とするファンド。新興国とはMSCIワールドに含まれない国とします。

- **外国債券型**

外国債券のうち、先進国の債券を主たる投資対象とするファンド。先進国とはシティWGBI採用国とニュージーランドとします。

- **エマージング債券型**

外国債券のうち、新興国の債券を主たる投資対象とするファンド。新興国とはシティWGBIに含まれない国からニュージーランドを除いた国とします。

- **ハイイールド債券型**

外国債券のうち、ハイイールド債券を主な投資対象とするファンド。ハイイールド債券とはエマージング債券を含めて格付けBB以下の投資不適格債とします。

- **複合資産型**

株式および債券を主たる投資対象とするバランス型ファンド。

- **REIT(不動産投信型)**

REITを主たる投資対象とするファンド。国内REIT、外国REIT双方を含みます。

- **その他**

上記いずれの分類にも属さないファンド。CBファンドもこの分類に入ります。

2016年7月 今月のトピック

『日本の財政概観』

アナリスト 佐藤 明

2016年7月13日作成

日本政府の財政状況は、国債発行残高の対GDP比が200%近いなど主要国の中で最悪の水準とされています。一方、証券市場ではこれまで財政問題を現実的な危機とした反応はしてきませんでした。近年は、金融政策による景気押し上げ効果への疑問から、財政政策を積極的に活用しようとの主張が世界各国でも増えているため、今一度日本政府の財政状況を確認しようと思います。

『ポイント』

- 過去20年の政府の経済政策は成長を実現することができず、結果として財政運営も厳しい状況が続いています。
- プライマリーバランスは1998年度から2015年度まで17年間も年間平均10兆円超の赤字が続いており、財政改善のための努力を怠ってきました。
- この間、企業収益は世界景気への連動性が強いため、基本的には拡大基調を続けました。しかし、法人税収は景気対策の一環として法人税率の引き下げなどを行った影響で漸減傾向でした。
- 一方、所得税は給与所得者の一人当たり所得の低下により減少基調を続けていましたが、2014年度以降は持ち直し気味です。
- 普通国債の発行残高は2015年度末で800兆円を超えており、ある程度の経済成長を前提にしても、財政収支の改善のみで発行残高を名目GDPで100%水準まで低下させるには20年から30年の期間が必要です。
- 日銀保有国債の実質デフォルト化などの議論も出始めており、投資家のみならず国民にとっては中長期的に備えが必要となりそうです。

■ 日本政府(中央)の財政規模

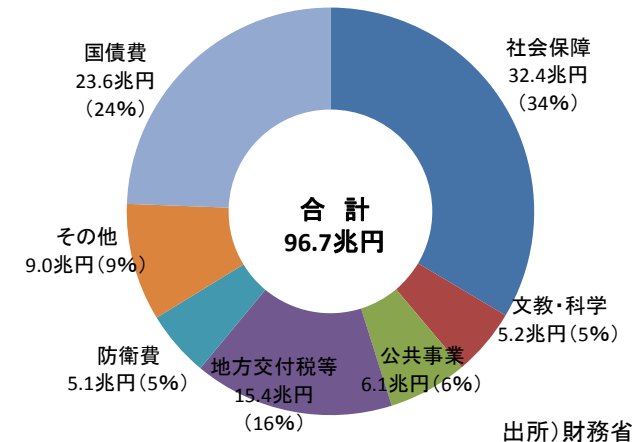
- 2016年度の政府の予算(歳出)は、一般会計で97兆円、特別会計で404兆円。一般会計と特別会計には入り繰りがあり、これらを相殺した純計では245兆円となる。
- 特別会計の歳入は、主に特定財源(保険料等)と一般会計からの受け入れに依っている。社会保障費など特定財源の不足分が一般会計から支出される。
- 政府の予算(純計)は名目GDP比で約49%の規模であり、国債費を除くと153兆円で約31%。民間企業の経常利益は約70兆円、民間給与所得総額は約200兆円。

特別会計歳出 (2016年度予定額)

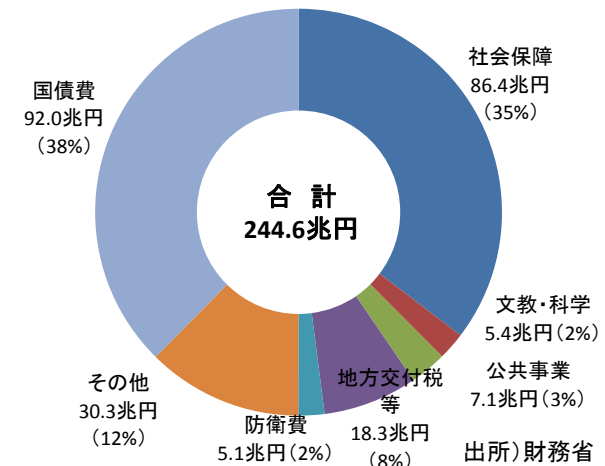
特別会計	歳出予定額 (兆円)	所管
国債整理基金	201.5	財務省
年金	87.9	内閣府、厚生労働省
交付税及び譲与税配付金	51.4	内閣府、総務省、財務省
財政投融资	38.4	財務省、国土交通省
エネルギー対策	11.2	内閣府、文部科学省、経済産業省、環境省
労働保険	6.4	厚生労働省
東日本大震災復興	3.2	国会、内閣、内閣府、復興庁、総務省、他
食料安定供給	1.4	農林水産省
外国為替資金	1.2	財務省
自動車安全	0.4	国土交通省
国有林野事業債務管理	0.3	農林水産省
貿易再保険	0.2	経済産業省
地震再保険	0.2	財務省
特許	0.1	経済産業省
総計	403.9	

出所) 財務省

一般会計歳出内訳 (2016年度予算)

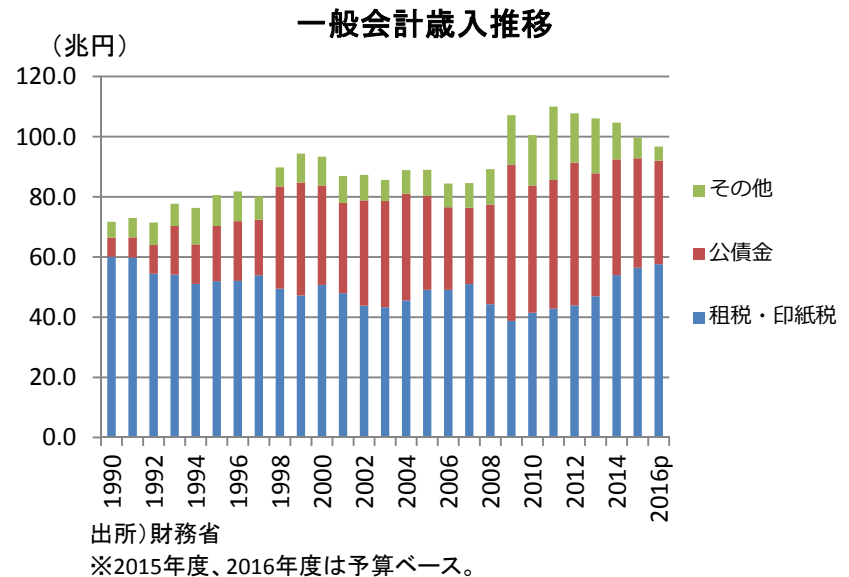
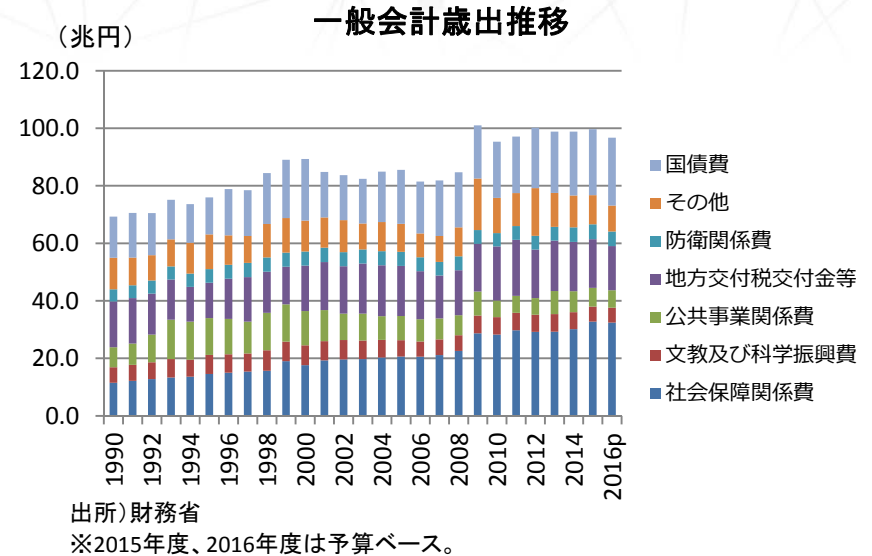
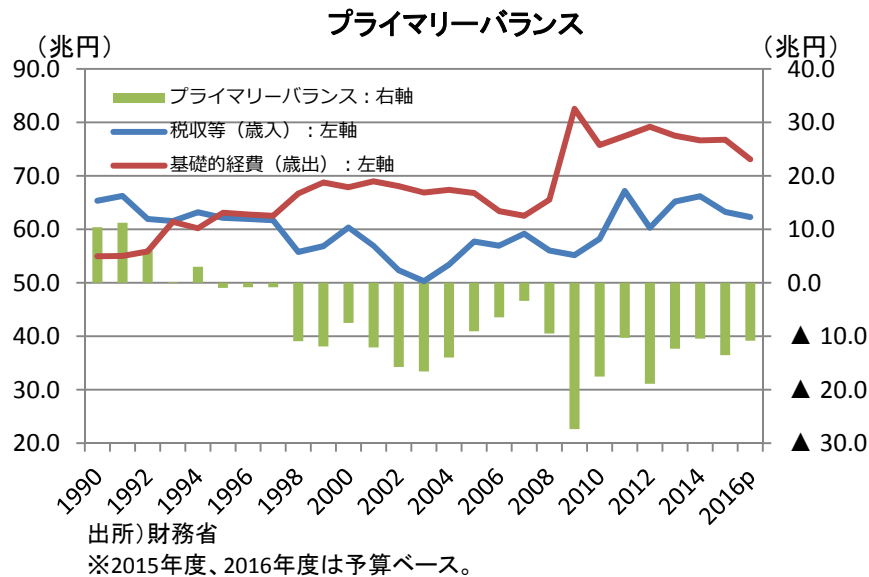


一般会計・特別会計純計 (2016年度予算)



■ 基礎的財政収支の赤字は約10兆円

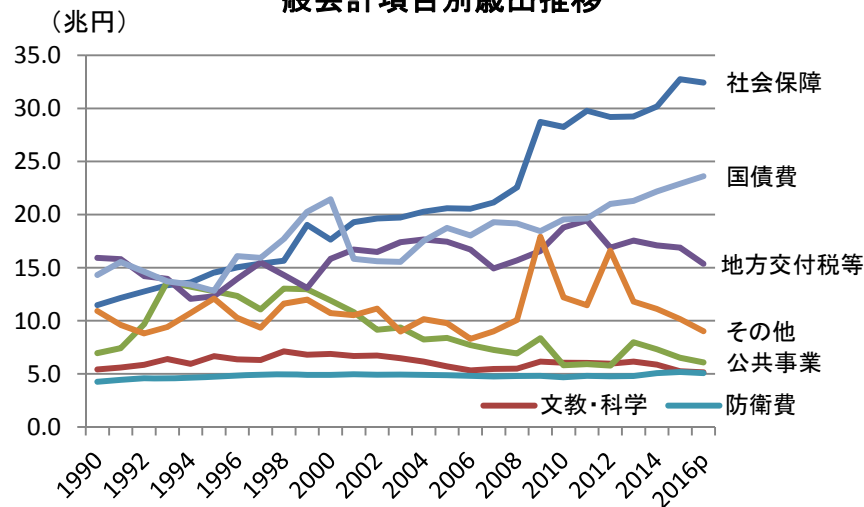
- 一般会計の歳出と歳入から国債費と公債金収入をそれぞれ除いた基礎的経費と税収・その他の収支戻であるプライマリーバランス(PB:基礎的収支)は、約10兆円程度の赤字が継続。
- PBは1998年度から本格的に赤字化。予算規模を漸増させる一方で、税収の減少が続いたため、赤字が定着。
- 基礎的経費は2009年度以降に急増、社会保障費の拡大が要因。リーマン・ショックなどで景気対策的に予算規模を拡大したことも要因の一つ。



■「放漫財政」?

- 一般会計の項目別歳出額は、社会保障関係費の伸びが突出。一般会計の社会保障費の内訳は、年金給付が約35%（約11兆円）、医療給付も約35%（約11兆円）。年金制度や医療保険制度の制度設計は財政面からは失敗と言え、政府の財政赤字の構造的問題となっているだけでなく、国民生活の安定の持続性が疑われている。
- 社会保障費は2009年度に急増した。2008年度の22.6兆円から28.7兆円に1年間で約6兆円増加している。これは2008年4月に施行された後期高齢者医療制度の影響である。
- 税収は1990年度のバブル崩壊から2010年度頃までの20年間にほぼ一貫して減少基調を続けた。税項目別では、消費税は1997年（3%→5%）と2014年（5%→8%）に増税されているため税収は増加しているが、所得税と法人税は概ね減少基調だった。
- 一般会計の数字の動きだけを見ると、過去20年間の財政運営は、収支の均衡を放棄した「放漫財政」と言われても仕方のない状況だったといえる。

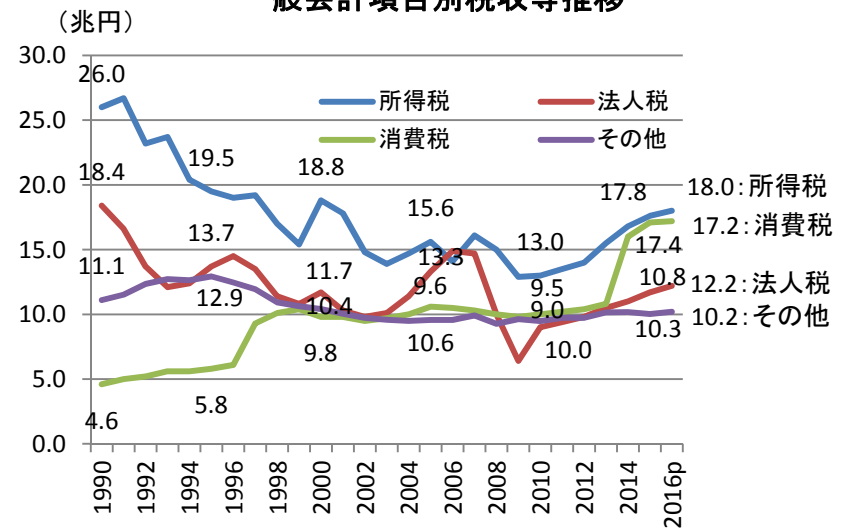
一般会計項目別歳出推移



出所)財務省

※2015年度、2016年度は予算ベース。

一般会計項目別税収等推移



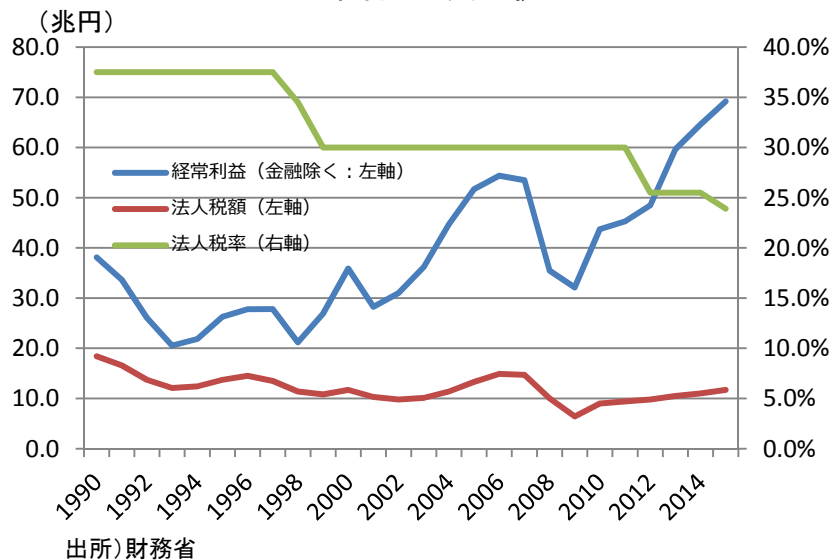
出所)財務省

※2015年度、2016年度は予算ベース。

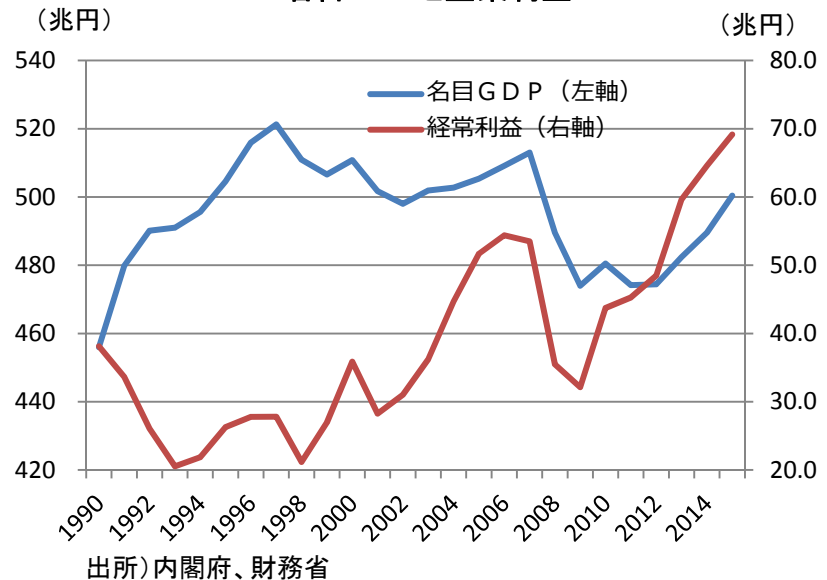
■企業収益の拡大と法人税、景気

- 法人企業統計による国内企業の経常利益(金融除く)は、過去25年間では十分に拡大している。1990年代中盤では20兆円～30兆円だったが、直近では70兆円程度まで増加した。
- 一方、法人税収は1990年代中盤が12兆円～14兆円で、2010年度以降は増加傾向とはいえ直近でも12兆円程度である。企業収益の回復は税収には全く貢献しなかったといえる。
- 法人税収が全く増加してこなかった要因の一つに法人税率の引き下げが影響している。法人税の基本税率(中小企業以外)は1997年から1999年にかけて37.5%から30.0%に引き下げられ、2012年にも30.0%から25.5%に引き下げられている。これ以外にも租税特別措置による減税もあった。
- 法人税率の引き下げには、民間の企業活動を活発化させることが景気を押し上げる最善の策であるとの考えがあった。その考え自体は正しいとしても、日本の過去25年間の経験からは、法人税率の引き下げや企業収益の増加が経済全体に大きな影響があったとは捉え難い。国民全体の生活実感や名目GDPと企業利益の動きを対比してみても、期待していたような景気押し上げ効果は薄いといえる。

企業利益と法人税

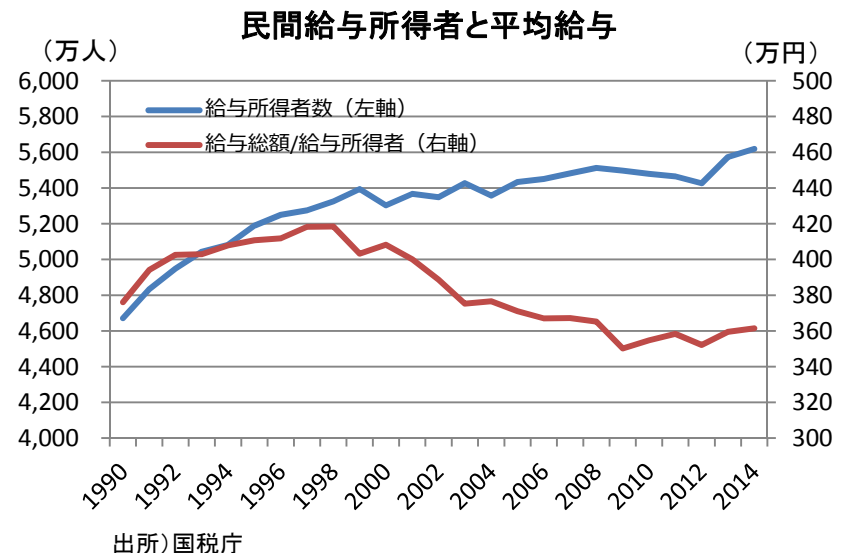
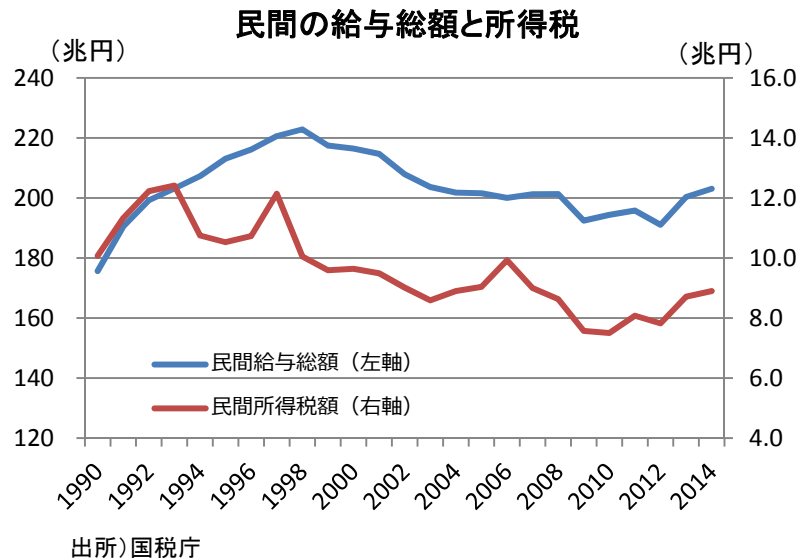


名目GDPと企業利益



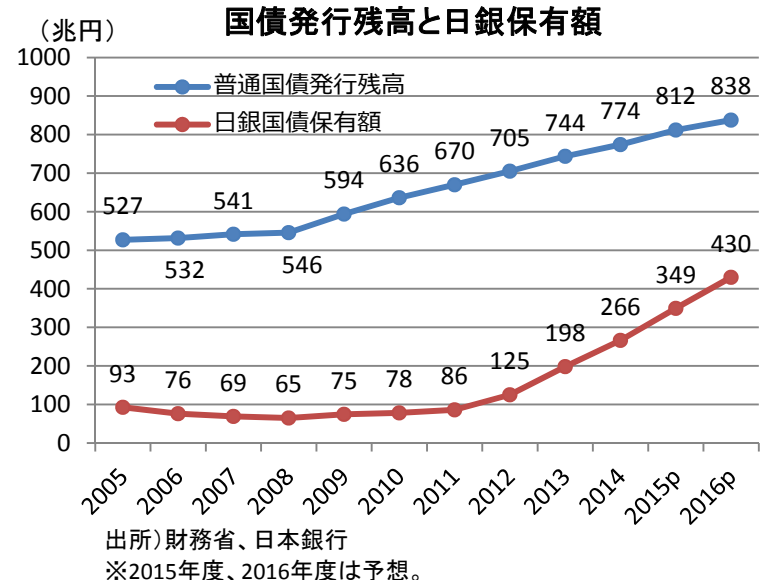
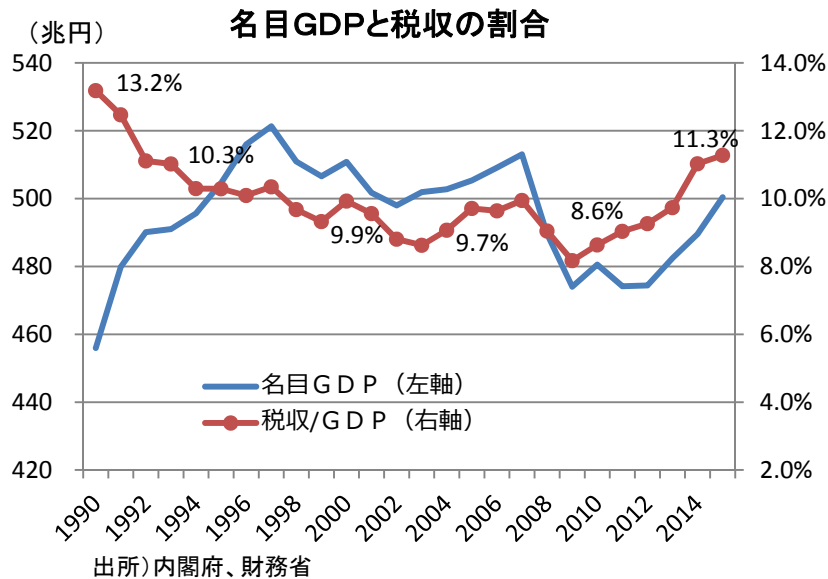
■景気の動きを反映する所得税

- 民間の給与総額の推移は、企業利益とは違い、名目GDPと似た動きをしている。1998年度にピークを付けて、その後は2010年度頃まで漸減傾向が続いた。給与総額はピークの223兆円から2014年度は203兆円で約20兆円減少した（ほぼ同期間に経常利益は約40兆円増加）。
- 民間給与所得者が支払った所得税は1990年代中盤の11兆円程度から直近では9兆円程度。給与総額が約1割減少し、所得税収は約2割減少している。
- 労働力人口の減少が言われているが、国税庁による民間給与所得者の人数は明確に減少しているわけではない。確かに2009年度から2012年度は緩やかに減少基調となったが、それ以降は再び増加しており、2014年度時点では過去最高の水準である。
- 一方で、給与総額を給与所得者で割った一人あたりの年間所得額は、1997年度の418万円をピークに2009年度の350万円まで減少基調が続き、その後は緩やかに増加しているが360万円近辺でほぼ底ばいの状況である。
- 所得税は所得階層別の税率となっているため、低税率層へのシフトが起きたと見られる。



■増税 & 福祉削減か高インフレかを選択

- 2014年度の消費増税の実績を基にすると、消費税を1%増税した場合の税収増加額は約2兆円である。足元のPBの約10兆円の赤字を消費増税のみで解消しようとするれば、約5%の増税を実施し、消費税率を13%にする必要がある。
- 財政健全化目標として、仮に国債発行残高を名目GDPの100%以下にすることを目標としシミュレーションをすると、①PB黒字化後にGDP成長率を平均1.0%、②基礎的経費の伸びを0.5%としても、およそ30年必要となる。
- 緊縮的財政と低金利政策をおよそ30年間に亘って実施するのは現実性に乏しいとの見方から、最近では日銀保有国債の一部を無利子永久債にして実質的に償却する提案などもある。
- 悲観的に見れば、将来の選択肢は増税 & 社会保障削減か高インフレによる生活水準の低下のどちらかが有力で、何事も起こらない可能性は低いといえる。



- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。

【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリストグループ

標・佐藤・竹内・大野

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

TEL:03-6721-1010 FAX:03-6721-1020

URL: <http://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会